

# 中部大学学則

---

2020年度

---



中部大学

# 中部大学学則

## 第1章 目的

第1条 中部大学（以下「本学」という。）は、教育基本法並びに建学の精神にのっとり、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力をもつ有為な人材を育成し、もって人類・社会の発展と学術・文化の進展に寄与することを目的とする。

## 第2章 学部・学科及び収容定員

第2条 本学に置く学部・学科は次のとおりとし、学生はその一学部・学科を専修するものとする。

工学部	機械工学科、電気電子システム工学科、都市建設工学科、建築学科、 応用化学科、情報工学科、ロボット理工学科、宇宙航空理工学科
経営情報学部	経営総合学科
国際関係学部	国際学科
人文学部	日本語日本文化学科、英語英米文化学科、コミュニケーション学科、 心理学科、歴史地理学科
応用生物学部	応用生物化学科、環境生物科学科、食品栄養科学科（食品栄養科学 専攻、管理栄養科学専攻）
生命健康科学部	生命医科学科、保健看護学科、理学療法学科、作業療法学科、 臨床工学科、スポーツ保健医療学科
現代教育学部	幼児教育学科、現代教育学科（現代教育専攻、中等教育国語数学 専攻）

2 学部及び学科ごとの教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

3 前項の目的を踏まえ、次の各号に掲げる方針を別に定める。

- (1) 卒業の認定及び学位の授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
- (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
- (3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

第3条 本学の学部及び学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	160	2	644
	電気電子システム工学科	160	2	644
	都市建設工学科	80	2	324
	建築学科	110	2	444
	応用化学科	90	2	364
	情報工学科	120	2	484
	ロボット理工学科	80	2	324
	宇宙航空理工学科	80	2	324

	計	880	16	3,552
経営情報学部	経営総合学科	300	6	1,212
	計	300	6	1,212
国際関係学部	国際学科	140	5	570
	計	140	5	570
人文学部	日本語日本文化学科	80	2	324
	英語英米文化学科	70	2	284
	コミュニケーション学科	70	2	284
	心理学科	90	2	364
	歴史地理学科	90	2	364
	計	400	10	1,620
応用生物学部	応用生物化学科	110	2	444
	環境生物科学科	110	2	444
	食品栄養科学科			
	食品栄養科学専攻	60	2	244
	管理栄養科学専攻	80	0	320
	計	360	6	1,452
生命健康科学部	生命医科学科	60	0	240
	保健看護学科	100	0	400
	理学療法学科	40	0	160
	作業療法学科	40	0	160
	臨床工学科	40	0	160
	スポーツ保健医療学科	80	0	320
	計	360	0	1,440
現代教育学部	幼児教育学科	80	2	324
	現代教育学科			
	現代教育専攻	60	2	244
	中等教育国語数学専攻	20	0	80
	計	160	4	648

#### 第4条 削除

### 第3章 修業年限・学年・学期及び休業日

第5条 本学の修業年限は4年とし、在学期間は通算8年を超えてはならない。

第6条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第7条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

第8条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日であっても授業又は試験を実施することがある。

- (1) 日曜日

- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
  - (3) 開学記念日 11 月 19 日
  - (4) 学園創立記念日 12 月 8 日
  - (5) 春季休業日
  - (6) 夏季休業日
  - (7) 冬季休業日
- 2 前項第 5 号から第 7 号までの休業期間は、別に定める。
- 3 必要がある場合は、第 1 項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

#### 第 4 章 教育課程・履修方法及び単位認定

第 9 条 本学の学部・学科の教育課程は、別表 2 のとおりとする。

- 2 学生は、所属する学部・学科所定の教育課程を履修しなければならない。
- 3 学生は、前項に定める教育課程のほか、他の学部・学科が開設する授業科目を履修することができる。

第 9 条の 2 学生は、本学が定める科目群の授業科目を副専攻として履修することができる。

- 2 副専攻の種類、科目群その他の必要事項は、別に定める。

第 9 条の 3 本学に日本語教員養成講座を置く。

- 2 日本語教員養成講座の授業科目その他の必要事項は、別に定める。

第 10 条 本学が教育上有益と認めるときに限り、他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下「他の大学」という。）との協議に基づき、学生は学長の許可を得て当該大学の授業科目を履修することができる。

- 2 前項の規定により履修し、修得した授業科目の単位は 60 単位を超えない範囲で、本学卒業に必要な単位に算入する。
- 3 他の大学での履修の期間は、原則として 1 年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、協議の上、更に 1 年以内に限り延長することができるが、履修の期間は、通算して 2 年を超えることはできない。
- 4 他の大学での履修の期間は、本学の在学期間に算入する。

第 10 条の 2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学長の許可を得て、学生が短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を行った場合は、本学における授業科目の履修とみなし、必要な単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は前条第 2 項による単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 11 条 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学において修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項

に規定する学修を本学における履修とみなし必要な単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第10条第2項及び前条第2項による単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第11条の2 第52条の2の規定による科目等履修生（大学の学生以外の者に限る。）として一定の単位を修得した者が本学に入学した場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したものと認められるときは、修得した単位数、その修得に要した期間等を勘案して、2年を超えない範囲の期間をその者の修業年限に通算することができる。

第12条 教育課程の授業科目は、全学共通教育科目及び学部教育科目に分ける。

第13条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部・学科		免許状の種類
工学部	機械工学科 電気電子システム工学科 都市建設工学科 建築学科	高等学校教諭一種免許状(工業)
	情報工学科	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(情報)
	応用化学科	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
経営情報学部	経営総合学科	高等学校教諭一種免許状(商業)
国際関係学部	国際学科	高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(公民)
人文学部	日本語日本文化学科	中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語)
	英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
	コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民)
	心理学科	高等学校教諭一種免許状(公民)
	歴史地理学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
応用生物学部	応用生物化学科	高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科)

	環境生物科学科	高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
	食品栄養科学科 食品栄養科学専攻	高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
	食品栄養科学科 管理栄養科学専攻	栄養教諭一種免許状
生命健康科学部	保健看護学科	養護教諭一種免許状
現代教育学部	幼児教育学科	幼稚園教諭一種免許状
	現代教育学科 現代教育専攻	小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(理科)
	現代教育学科 中等教育国語数学専攻	中学校教諭一種免許状(国語) 中学校教諭一種免許状(数学)

第 13 条の 2 本学応用生物学部応用生物化学科、環境生物科学科又は食品栄養科学科の食品衛生コースにおいて、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）に定める所要の単位を修得した者は、同法及び同法施行令（昭和 28 年政令第 229 号）の規定に基づく食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得することができる。

2 本学応用生物学部食品栄養科学科において、管理栄養科学専攻（以下「管理栄養科学専攻」という。）の課程を履修して卒業した者は、栄養士法（昭和 22 年法律第 245 号）に規定する栄養士の免許を取得することができる。

3 管理栄養科学専攻において、栄養士法施行令（昭和 28 年政令第 231 号）及び管理栄養士学校指定規則（昭和 41 年文部・厚生令第 2 号）の規定に基づき定められた所要の単位を修得して卒業した者は、管理栄養士国家試験の受験資格を取得することができる。

4 前 2 項に規定する栄養士の免許及び管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者が履修すべき授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第 13 条の 3 本学国際関係学部国際学科、人文学部日本語日本文化学科、コミュニケーション学科又は歴史地理学科において、学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）及び博物館法施行規則（昭和 30 年文部省令第 24 号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者のために学芸員課程を置き、課程に関する授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第 13 条の 4 本学現代教育学部幼児教育学科において、保育士の資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 11 号）の規定に基づき定められた所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者が履修すべき授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第 13 条の 5 本学生命健康科学部保健看護学科において、保健師助産師看護師法（昭和 23

年法律第 203 号)の規定に定める保健師国家試験の受験資格を得ようとする者は、別に定める選考を経て、保健師助産師看護師学校養成所指定規則(昭和 26 年文部省・厚生省令第 1 号別表)に定める所要の単位を修得しなければならない。

第 13 条の 6 司書の資格を取得しようとする者は、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)及び図書館法施行規則(昭和 25 年文部省令第 27 号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者のために司書課程を置き、課程に関する授業科目、単位数その他の必要な事項は、別に定める。

第 14 条 各授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。

2 学生は、その履修しようとする授業科目を定めて、あらかじめ学長に申告しなければならない。

3 前項により履修科目として申告できる単位数は、各学部・各学年ごとに別に定める単位数の上限を超えることができない。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、履修科目として申告することができる単位数の上限を超えて申告を認めることができるものとする。

第 15 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義については、15 時間から 30 時間までの授業をもって 1 単位とする。

(2) 演習については、15 時間から 30 時間までの授業をもって 1 単位とする。

(3) 実験、実習、製図、実技は、30 時間から 45 時間までの授業をもって 1 単位とする。

2 前項の各授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。その場合の単位数は、前項のとおりとする。

第 16 条 一の授業科目の履修が終わったときには、試験・実習報告・実習状況・平素の学修状況等によってその成績を評価し、合格した者には、その科目の修了を認め単位を与える。

2 試験及び評価に関する事項は、別に定める。

第 17 条 教育課程の各授業科目の履修に係る学修進行の制限については、別に定める。

## 第 5 章 卒業及び学位

第 18 条 学部を卒業するには、4 年以上在学し、かつ、教育課程に定める科目を履修し、別表 2 に定めるところにより、124 単位以上を修得しなければならない。

第 19 条 学部を卒業した者に学士の学位を授与する。

2 学士の学位は、専攻分野により次のとおりとする。

工学部 学士(工学)

経営情報学部 学士(経営情報学)

国際関係学部 学士(国際学)

人文学部 学士(人文学)

応用生物学部 学士（応用生物学）

生命健康科学部

生命医科学科 学士（生命医科学）

保健看護学科 学士（看護学）

理学療法学科 学士（理学療法学）

作業療法学科 学士（作業療法学）

臨床工学科 学士（臨床工学）

スポーツ保健医療学科 学士（スポーツ保健医療学）

現代教育学部 学士（教育学）

- 3 学位の授与に関しては、中部大学学位規程（昭和 46 年 4 月 1 日制定）の定めるところによる。

## 第 6 章 外国人留学生に関する授業科目等の特例

第 20 条 この章において「外国人留学生」とは、外国籍を有し、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学した者をいう。

第 21 条 外国人留学生に対する教育上の必要から第 9 条に規定するもののほか、各学部において日本語に関する科目を開設することができる。

- 2 外国人留学生に係る卒業の要件として修得すべき単位数は、第 18 条の規定にかかわらず、外国人留学生が日本語に関する科目を履修し、所要の単位を修得した場合は、別に定めるところにより、全学共通教育科目（教養課題教育科目に限る。）の単位に代えることができる。

## 第 7 章 入学、退学、転学、留学、休学、復学及び除籍

第 22 条 入学の時期は、学年の始めとする。再入学、編入学及び転入学の場合も同様とする。

第 23 条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校



卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。）第 90 条第 2 項の規定により他の大学に入学した者で、その後本学において、大学教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

第 24 条 入学志願者は、所定の書類に検定料を添えて、所定の期日までに願い出なければならない。

2 入学志願の手続に関する事項は、別に定める。

第 25 条 入学を許可すべき者は、入学志願者について選考の上、決定する。

2 入学者選考に関する事項は、別に定める。

第 26 条 次の各号の一に該当する者で、本学の第 3 年次に編入学を志願する者については、選考の上、学長が入学を許可する。

(1) 大学を卒業した者又は法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者

(2) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号。以下「施行規則」という。）附則第 7 条に規定する者

(3) 短期大学を卒業した者

(4) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者

(5) 大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者

(6) 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）

(7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）

(8) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）

2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。

3 第 24 条の規定は、第 1 項の規定により編入学を志願する場合に準用する。

第 26 条の 2 次の各号の一に該当する者は、収容定員に欠員のある場合には、選考の上、学長が相当年次に入学を許可することがある。

(1) 他の大学の学生で当該学部長又は学長の承認を得て本学に転入学を志願する者

(2) 大学を卒業した者又は法第 104 条第 4 項の規定により、学位を授与された者で本

学に編入学を志願する者

- (3) 施行規則附則第7条の規定により、本学に編入学を志願する者
- (4) 短期大学を卒業した者で本学に編入学を志願する者
- (5) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者で本学に編入学を志願する者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（法第90条第1項に規定する入学資格を有する者に限る。）で、本学に編入学を志願する者
- (7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者（法第90条第1項に規定する者に限る。）で、本学に編入学を志願する者
- (8) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（法第90条第1項に規定する者に限る。）で、本学に編入学を志願する者

2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。

3 第24条の規定は、第1項の規定により編入学を志願する場合に準用する。

第26条の3 第26条第1項及び第26条の2第1項による入学者選考に関する事項は、別に定める。

第27条 入学を許可された者は、指定の期日までに、次の手続をとらなければならない。

- (1) 保証人連署の誓約書を提出すること。
- (2) 住民票又はこれに代るものを提出すること。
- (3) 所定の授業料等を納付すること。

2 故なく、前項の手続をしないときは、入学許可はその効力を失う。

第28条 病気その他やむを得ない理由により、2か月以上修学することができない者は、理由書（病気による場合は医師の診断書）を添えて学長に願い出て、許可を得て休学することができる。

2 休学できる期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があるときは、許可を得て延長することができる。

3 休学の期間は、通算して4年を超えてはならない。

第29条 病気その他の理由により、修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は、教授会の議を経て休学を命ずることができる。

第30条 休学期間は、第5条に規定する在学期間に算入しない。

第31条 休学の理由が終って復学しようとする者は、理由書（病気による休学の場合は医師の診断書）を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第32条 他の大学に転学しようとする者又は他の大学の入学試験に応じようとする者は、

理由書を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第 33 条 現に在籍している学部・学科の学生が、他の学部・学科に転学部・転学科を志望する場合は、願い出により、選考の上、学長は、教授会の議を経て第 2 年次又は第 3 年次に転学部・転学科を許可することができる。

2 前項に関する事項については、別に定める。

第 34 条 退学しようとする者は、理由書（病気による場合は医師の診断書）を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第 35 条 本学が教育上有益と認めるときに限り、外国の大学との協議に基づき、学生は、学長の許可を得て当該大学に留学することができる。

2 第 10 条第 2 項、第 3 項及び第 4 項の規定は、前項の場合にこれを準用する。ただし、外国の大学との協定に基づく 2 学位プログラムによる留学の場合は、原則として 2 年間の履修を必要とするため、第 10 条第 3 項の適用を除外する。

第 36 条 次の各号の一に該当する者は、これを除籍する。

- (1) 第 5 条に規定する在学期間を超えた者
- (2) 第 28 条第 3 項に規定する休学期間を超えた者
- (3) 休学期間が終っても所定の手続きをしない者
- (4) 死亡した者
- (5) 授業料納付の義務を怠り、督促しても納付しない者

第 37 条 第 34 条の規定による退学者及び前条第 5 号の規定による除籍者については、本人の願い出により、学長は、教授会の議を経て再入学させることができる。

## 第 8 章 授業料、入学科及び検定料

第 38 条 本学の各学部の授業料、入学科及び検定料の額は、次の表のとおりとする。ただし、第 5 条に規定する修業年限を超えて在学する者及び私費外国人留学生の授業料の額並びに入学試験において複数日の受験又は複数学科の受験を出願する者の検定料の額については、別に定めることができる。

区分		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
授業料	工学部	(円) 930,000	(円) 940,000	(円) 950,000	(円) 960,000	(円) 3,780,000
	経営情報学部	730,000	740,000	750,000	760,000	2,980,000
	国際関係学部	770,000	780,000	790,000	800,000	3,140,000
	人文学部	770,000	780,000	790,000	800,000	3,140,000
	応用生物学部	930,000	940,000	950,000	960,000	3,780,000
	生命健康科学部					
	生命医科学科	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000	4,020,000
	保健看護学科	960,000	970,000	980,000	990,000	3,900,000
	理学療法学科	960,000	970,000	980,000	990,000	3,900,000
	作業療法学科	960,000	970,000	980,000	990,000	3,900,000

	臨床工学科	930,000	940,000	950,000	960,000	3,780,000
	スポーツ保健医療学科	880,000	890,000	900,000	910,000	3,580,000
	現代教育学部	720,000	730,000	740,000	750,000	2,940,000
入学料	280,000円					
検定料	35,000円					

第 39 条 授業料の納付は、各年次に係る授業料について、春学期及び秋学期の 2 期に区分して行うものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の 2 分の 1 に相当する額とする。

2 前項の授業料は、春学期にあつては 4 月 1 日から 10 日までに、秋学期にあつては 10 月 1 日から 10 日までに納付しなければならない。ただし、新たに入学を許可された者は、指定の期日までに春学期の授業料を納付しなければならない。

第 39 条の 2 春学期又は秋学期の全期間を休学する者のその期の授業料は、納付を免除する。ただし、別に定める在籍料を指定の期日までに納付しなければならない。

第 40 条 秋学期の納付の時期前に退学する者の納付する授業料の額は、授業料の年額の 2 分の 1 に相当する額とする。

第 41 条 経済的理由によって納付が困難な者については、その者の申請に基づいて、納付を猶予することができる。

第 42 条 入学料は、入学するときに納付しなければならない。ただし、再入学する者にその他別に定める者については、入学料の納付を免除する。

第 42 条の 2 検定料は、入学、編入学又は再入学を出願するときに納入しなければならない。

第 42 条の 3 既納の授業料、入学料及び検定料は、返付しない。ただし、入学手続き時に納付された授業料の取扱いについては、別に定めることができる。

## 第 9 章 賞罰

第 43 条 学生として表彰に価する行為があつたときには、学長は、教授会の議を経て、これを表彰することができる。

第 44 条 学生が本学の定める諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為があつたときは、学長は、教授会の議を経て、これを懲戒する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 懲戒に関する事項は、別に定める。

## 第 10 章 研究生及び聴講生

第 45 条 本学において特定の事項について研究することを願い出た者があるときは、本学の学生の修学を妨げない場合に限り、選考の上、研究生として許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、本学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者とする。

第 46 条 研究生の研究期間は半年とする。ただし、事情によって延長することができる。

2 研究期間が終了したときは、研究生としての在籍証明書を交付することができる。

第 47 条 研究生の研究料は、1 か月 28,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 検定料は、35,000 円とし、願い出と同時に納付しなければならない。

3 既納の研究料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 48 条 本学の授業科目のうち特定の科目を聴講することを願い出た者があるときは、本学の学生の修学を妨げない場合に限り、選考の上、聴講生として許可することができる。

2 聴講生を志願することのできる者は、第 23 条に規定する入学資格を有する者又は本学教授会において適当と認めた者とする。

第 49 条 聴講生の聴講期間は、聴講科目について授業の行われる期間とする。

2 聴講科目の試験に合格した者には、証明書を交付することができる。

3 聴講生として修得した単位は、本学正規の課程の単位としては認められない。

第 50 条 聴講生の聴講料は、1 科目につき 10,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 既納の聴講料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 51 条 研究生及び聴講生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

## 第 11 章 特別聴講学生

第 52 条 他の大学又は外国の大学に在学中の学生で本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、当該大学との協議に基づき、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

2 特別聴講学生については、別に定める。

### 第 11 章の 2 科目等履修生

第 52 条の 2 本学の学生以外の者で、一又は複数の授業科目を履修し、単位を修得しようとする者がある場合、学部において適当と認めたときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

第 52 条の 3 削除

第 52 条の 4 科目等履修生の入学の時期は、当該授業科目の授業が行われる学期の始めとする。

第 52 条の 5 科目等履修生の授業料は、1 単位につき 10,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 検定料は、5,000 円とし、願い出と同時に納付しなければならない。

3 既納の授業料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 52 条の 6 その他科目等履修生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

## 第 12 章 職員組織

第 53 条 本学に、学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。

- 2 学長は、本学を代表し、校務全般をつかさどり、所属職員を統督する。
- 3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
- 4 第 1 項に定めるほか、必要に応じてその他必要な職員を置くことができる。

### 第 13 章 協議会及び教授会

第 54 条 本学に重要な事項を審議するため、中部大学協議会を置く。

- 2 中部大学協議会に関する事項は、別に定める。

第 55 条 学部に教授会を置く。

第 55 条の 2 教授会は、教授をもって組織する。

- 2 前項の組織には、審議事項に応じ、准教授その他の教育職員を加えることができる。

第 56 条 教授会は、次の各号に掲げる事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

- 2 教授会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べるができるものとする。

### 第 14 章 図書館

第 57 条 本学に附属三浦記念図書館を置く。

- 2 附属三浦記念図書館の管理・運営その他必要な事項は、別に定める。

### 第 15 章 学生寮

第 58 条 本学に学生寮を置き、学生の願い出により選考の上、入寮を許可する。

- 2 学生寮に関する規則は、別に定める。

### 第 16 章 公開講座

第 59 条 地方文化の向上発展に資するために、適宜地方の実情に即した公開講座を開催することがある。

### 第 17 章 雑則

第 60 条 この学則の施行に関し必要な事項は、施行細則で定める。

### 附 則

この学則は、昭和 39 年 4 月 1 日から施行する。

<昭和 40 年 4 月 1 日から平成 6 年 3 月 31 日までの改正附則は省略>

**附 則**

- 1 この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定にかかわらず、平成 3 年度から平成 11 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～ 平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 9 条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成 2 年 4 月 1 日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

**附 則**

この学則は、平成 6 年 6 月 1 日から施行し、改正後の第 54 条の 2 の規定は、平成 6 年 4 月 1 日から適用する。

**附 則**

この学則は、平成 6 年 6 月 1 日から施行する。

**附 則**

- 1 この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定にかかわらず、平成 3 年度から平成 11 年度までの間の入学定員は、次の

とおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～ 平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	20	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成3年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

### 附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～ 平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800



経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成4年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

### 附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～ 平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成5年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

## 附 則

- この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 3 条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成 3 年度から平成 11 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～ 平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 人文学部に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 12 年度からこれを適用する。
- この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 9 条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- この学則施行の際、平成 6 年 4 月 1 日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

## 附 則

- この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。
- 工学部工業化学科は、改正後の第 2 条の規定にかかわらず、平成 11 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 第 3 条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成 11 年度の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	220
	電気工学科	160
	土木工学科	120
	建築学科	120

	電子工学科	180
	応用化学科	120
	工業物理学科	80
	計	1000
経営情報学部	経営情報学科	260
	計	260
国際関係学部	国際関係学科	110
	国際文化学科	110
	計	220

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成6年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 工学部工業物理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科に係る適用規定は、なお従前の例による。
- 3 工学部土木工学科、建築学科、応用化学科及び情報工学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成14年度からこれを適用し、工学部、経営情報学部及び国際関係学部の平成12年度の収容定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	220	15	910
	電気工学科	140	10	640
	土木工学科	110	10	490
	建築学科	120	10	500
	電子工学科	160	10	720
	応用化学科	120	10	500
	情報工学科	120	0	120
	工業物理学科	0	0	240
	計	990	65	4,120
経営情報学部	経営情報学科	260	20	1,080
	計	260	20	1,080
国際関係学部	国際関係学科	110	10	460
	国際文化学科	100	10	450

	計	210	20	910
--	---	-----	----	-----

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表及び第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成7年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

### 附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 工学部、経営情報学部及び国際関係学部の平成13年度の収容定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	200	15	890
	電気工学科	110	10	590
	土木工学科	100	10	470
	建築学科	120	10	500
	電子工学科	120	10	660
	応用化学科	100	10	480
	情報工学科	120	0	240
	工業物理学科	0	0	160
	計	870	65	3,990
経営情報学部	経営情報学科	250	20	1,070
	計	250	20	1,070
国際関係学部	国際関係学科	110	10	460
	国際文化学科	90	10	430
	計	200	20	890

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第9条関係）及び第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 平成13年度以降に人文学部各学科、工学部情報工学科及び応用生物学部各学科に入学する学生に係る教養教育科目については、改正後の別表（第9条関係）教養教育科目（Ⅱ）を適用する。
- 5 この学則施行の際、平成8年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

### 附 則

この学則は、平成 13 年 5 月 22 日から施行し、平成 13 年 1 月 6 日から適用する。

#### 附 則

この学則は、平成 13 年 5 月 24 日から施行し、平成 13 年 4 月 1 日から適用する。

#### 附 則

この学則は、平成 13 年 11 月 21 日から施行し、平成 13 年 10 月 1 日から適用する。

#### 附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科、経営学科及び人文学部コミュニケーション学科、心理学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 16 年度からこれを適用し、工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成 14 年度の入学定員は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	190
	建築学科	120
	応用化学科	100
経営情報学部	経営情報学科	140

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第 9 条関係）及び第 13 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成 15 年度の入学定員は、第 3 条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	180
	建築学科	120

	応用化学科	100
経営情報学部	経営情報学科	130

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 工学部電気工学科、土木工学科及び電子工学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 人文学部英語英米学科及び歴史地理学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成18年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 工学部情報工学科、人文学部日本語日本文化学科及び応用生物学部食品栄養科学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成19年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

この学則は、平成17年5月24日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

#### 附 則

この学則は、平成 17 年 10 月 14 日から施行し、平成 17 年 10 月 1 日から適用する。

#### 附 則

この学則は、平成 17 年 12 月 1 日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

この学則は、平成 19 年 12 月 26 日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、同電子情報工学科及び現代教育学部幼児教育学科、同児童教育学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 22 年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

この学則は、平成 21 年 1 月 21 日から施行する。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 国際関係学部国際関係学科、同国際文化学科及び同中国語中国関係学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 23 年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科及び経営会計学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 25 年度からこれを適用する。
- 3 削除
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 12 条、第 18 条及び第 21 条第 2 項並びに別表 1（第 2 条関係）及び別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規



定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部ロボット理工学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 28 年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科、経営学科、経営会計学科及び国際関係学部国際関係学科、国際文化学科、中国語中国関係学科は、改正後の第 2 条の規定にかかわらず、平成 31 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 経営情報学部及び国際関係学部に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 30 年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 13 条第 2 項及び別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 現代教育学部現代教育学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 31 年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 13 条第 2 項及び別表 2（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部電気システム工学科及び電子情報工学科は、改正後の第 2 条の規定にかかわらず、平成 33 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 工学部電気電子システム工学科及び宇宙航空理工学科に係る 3 年次編入学定員の規定

は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成32年度からこれを適用する。

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第13条第2項及び別表2（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第13条第2項及び別表2（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表2（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 附 則

この学則は、2020年5月1日から施行する。

別表1（第2条第2項関係）

## 教育研究上の目的

学部・学科	教育研究上の目的
工学部	個の人間形成に必要な教養、時代を超えた普遍的な幅広い基礎知識、専門知識と実務知識並びにその応用力を自ら学ぶことによって修得し、発想を現実のものにするための複眼的な論理的思考法を訓練することにより、地域社会を中心にして、日本さらには国際社会において、状況の変化や時代の要請に応じて柔軟に対応して活躍できる能力を身に付け、開拓者精神に満ちた心身共に健全な技術者（教育者、研究者を含む。）を育成する。
機械工学科	数学と物理学における基礎的な理解力・応用力と、これらに基づいた機械工学の最も基礎的・普遍的な専門知識と概念を修得させるとともに、各種機械の設計・製作・評価・管理に関する学術分野の教育を行い、主として力学・制御、エネルギー・流体、生産プロセス及び工学設計の領域の知識・能力を身につけた有能な人間を育成する。
電気電子システム工学科	地球規模で持続可能な電気エネルギーシステムやエレクトロニクス分野の電子機器・システム等を利用した快適な社会環境を確立するために、電気工学と電子工学を基盤とする学術分野の教育研究を行い、電力・設備、電機・計測制御、材料・デバイス、システム・通信等の各領域の知識・能力を修得した有能な技術者を育成する。
都市建設工学科	土木工学を基盤として、人間が生活する上で安心・安全かつ快適な社会基盤の整備や持続発展可能な地球環境の開発・保全に関する学術分野の教育を行い、主として、計画、設計、施工、管理などの専門的又は実務的な領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。
建築学科	建築は機能を満たし、安全、快適で美しさが求められる。歴史、都市、社会との関わりを基礎に、空間創造のための建築デザイン、安全な建築を造るための材料と構造、建築内外の環境の学術分野の教育を行う。そして、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画の領域の知識を修得し、デザイン能力があり、人間の幸福を実現できる有能な人間を育成する。
応用化学科	物質の変化に関する化学の基礎的概念を理解させ、これに基づいた化学の専門知識を修得させるとともに、化学計測、無機・有機及びナノ複合材料、エネルギー、環境に関する学術分野の教育を行い、主として環境化学、物理化学、無機化学、有機化学及び化学工学の領域の知識・能力を身につけた有能な人間を育成する。
情報工学科	情報工学の技術と知識の基礎を身につけ、システムモデルを構築する能力を伸ばすための教育を行い、主としてソフトウェア、通信ネットワーク、ハードウェア、システム制御に関する知識・能力を修得した有能な人間を育成する。

ロボット理工学科	ロボット理工学の基礎となる理学並びにシステム設計、プログラミング、制御・信号処理、人工知能、生体医工学等の基盤的工学知識を修得させるとともに、複合的な新しいロボット技術に関する教育を行い、ロボット領域における知識・能力、技術を身につけたロボット共存社会を支えるグローバルな技術者を育成する。
宇宙航空理工学科	宇宙航空理工学の基礎となる基盤的専門知識を修得させるとともに、航空機開発や宇宙航行等の学際的・複合的な宇宙航空理工学に関する教育研究を行い、新しい航空機やロケット、人工衛星、宇宙探査機、宇宙ステーション等を包含する次世代宇宙航空産業における開発製造技術に関わる生産現場のリーダーとなりうる技術者を育成する。
経営情報学部	豊かな教養、自立心と公益心とともに、企業経営と情報技術に関する基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、自ら学び続ける能力を身につけ、広く国際的視野から物事を考え実行する専門職業人/有識社会人となる有為の人間を育成する。
経営総合学科	経営総合学科は、経営、情報、会計、経済、法律等の諸分野にわたる基本的な考え方、知識、スキルを修得し、自立心、公益意識、広い視野から物事を考える力、行動力を備えて、企業や組織の発展に将来貢献する人材として社会に役立つ人間を育成する。
国際関係学部	社会科学並びに人文科学の立場から、国際関係・国際文化の動向・諸要因を政治・経済・社会・文化等の諸分野について総合的・包括的、グローバルかつローカルな視点から考察し、国際化する社会のさまざまな現場で、実際に活躍できる有為の人間を育成する。
国際学科	国際社会の政治・経済・社会・文化現象を社会科学・人文科学の立場を中心として考察し、国際社会の動向や諸要因の分析、国際開発や政策研究等の諸問題、人類の多様な文化的価値の解明、他文化理解やコミュニケーション能力の向上等について総合的・包括的に教育研究し、英語・中国語を中心とした外国語の修得とともに国際的な知識や視野を備え、国際社会で幅広く活躍できるグローバル人材を育成する。
人文学部	人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成する。
日本語日本文化学科	世界の中の日本という視点から、日本語や日本文化を深く理解し、国際社会の中での日本文化の意義を探求し、あわせてそのための読解力、思考力、表現力の練磨をとおして教養ある社会人を育成する。
英語英米文化学科	高度な英語運用能力を養い、英語圏の言語、社会・文化に対する深くて確かな知識と理解力を持ち、積極的に国際社会に参加できる逞しい人間を育成する。

コミュニケーション学科	現代のメディア・コミュニケーションについての理論と実践的技術を学び、情報の収集、吟味、加工・編集、発信のプロセスを深く理解し、高度情報社会で自立的な判断ができる人間を育成する。
心理学科	基礎的な研究方法や技術を学び、認知、教育・文化、発達・社会、臨床などの各分野の専門知識を深く理解し、また統合し、こころの問題に対処できる力量をもった健全で成熟した社会人を育成する。
歴史地理学科	あらゆる事象や問題を「歴史的経緯」と「地理的視野」をあわせて統合的に考察・学習し、現代を生きてゆくために必要な深い洞察力と見識、歴史的・地理学的センスを身につけた人間を育成する。
応用生物学部	現代の生物科学の爆発的な発展の状況を受け、21世紀のバイオ産業すなわち生物の機能を応用して人間生活に有用な物質生産や自然環境保全及び食育環境の向上を目的とする産業及び民政部門で活躍する職業人を育成する。
応用生物化学科	バイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、微生物や動植物の多様な生物機能の利用技術を支え、発展させるとともに、先端の生物科学の情報にも精通し、人類の生存に有用な手段を提供し、広くバイオ産業界で活躍しうる人間を育成する。
環境生物科学科	環境に関わるバイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、環境の状況を科学的に評価し、循環型社会の実現と地球環境問題を解決する能力のある人間を育成するとともに、あらゆる産業・社会分野において環境問題に極めて意識の高い職業人・技術者・社会人を育成する。
食品栄養科学科	最先端のバイオサイエンス、バイオテクノロジーに関する基礎教育を基盤として、現代の食を取り巻く種々の状況・問題を理解、解決するための知識や技術を習得し、食品産業界のみではなく、医薬品・健康産業や生物生産業など広い分野で活躍できる「食と健康」に関するプロフェッショナルを育成する。
生命健康科学部	生活習慣病の拡大や感染症の増加など21世紀型の健康・医療に関する諸課題に対して、豊かな人間性とともにも医学と生命科学の基礎を修得し、十分なバイオ・創薬・医用工学技術あるいは保健・看護学を基盤とした専門的技術を身につけて、学際的な新たな立場で対応できる有能な人間を育成することを通じて社会に貢献する。
生命医科学科	豊かな人間性の涵養教育及び医学と生命科学の基礎教育を徹底した上で、21世紀型の疾病と健康不安のしくみを解明し、これを予防し診断・治療するための薬物、資材、機器、技術を開発する研究者、技術者、並びに生活・職場環境を保健予防の視点で保全する専門家、並びに関連学問領域の教育研究者の候補を育成する。

保健看護学科	看護学の専門教育並びに医学と生命科学の基礎的教育を通じて、豊かな人間性を備え、人間の尊厳と権利を擁護でき、人々に信頼される実践力をもち、保健・医療・福祉チームにおいて、国際社会の動向を見据えたグローバルな視野でコラボレーション、リーダーシップを発揮できる看護師、保健師を育成する。
理学療法学科	医科学・医療・福祉を総合的に捉えた障害者支援科学を教育研究し、豊かな人間性を備え、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や障害者の増加と高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題に対応できる専門職業人としての理学療法士を養成する。
作業療法学科	医科学・医療・福祉を総合的に捉えた障害者支援科学を教育研究し、豊かな人間性を備え、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や障害者の増加と高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題に対応できる専門職業人としての作業療法士を養成する。
臨床工学科	医科学・医療を総合的に捉えた上で、最先端の医療機器の操作・維持管理について教育研究し、豊かな人間性を備え、幅広い総合性と高い専門性を修得して、医学の進歩と医療技術の高度化・専門分化や高齢化社会における病気の重度化・重複化などの諸問題に対応できる専門職業人としての臨床工学技士を養成する。
スポーツ保健医療学科	人間の健康の保持・増進と疾病予防等の病気に関する十分な知識を備えた上で、現代病の発症予防と健康の増幅に有用な水泳、エアロビクス運動、レクリエーションなどの健康運動（健康・生涯スポーツ等）の理論と実技を習得し、その知識・技術を科学的・医学的根拠に基づいて的確に活用して、中高年者、心身の障害者、その他の理由で身体運動が不活発な者を主な対象とした「健康運動」の安全かつ効果的な実践を適切に指導できる「健康運動を活用する保健医療の推進者」としての専門性を備えた人材を育成する。
現代教育学部	次世代教育、特に、家庭、学校、地域社会における教育の重要性を基本とし、次代を担う乳幼児、児童生徒の健全な育成を中心的課題として広く教育研究を行い、もって人格形成基盤を体系的に支援することができる優れた教育者、保育者を養成し、社会の期待と発展に寄与することを目的とする。
幼児教育学科	乳幼児期の人間形成の基盤作りを専門的に支援・指導する専門職業人を養成する。その基本的な教育目標は、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を可能とし、その資格・免許を基に複雑で変化の激しい環境の下で生じる個別的な課題の解決に向けて創造的に実践できる人材を育成する。
現代教育学科	児童生徒の成長発達、教育、支援について学際的に教育研究して、「次世代教育」のあり方についての理論と技能を修得し、社会が求める多様な教育実践と教育支援活動を積極的に推進する人材を育成する。

別表2 (第9条関係)

## 全学共通教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【初年次教育科目】</b> スタートアップセミナー	1		<b>【教養課題教育科目】</b> <b>(人文リテラシー)</b> 世界の歴史と日本		2
<b>【キャリア教育科目】</b> 自己開拓		1	日本の歴史と文化		2
社会人基礎知識		2	芸術の世界		2
<b>【スキル教育科目】</b> 英語スキルⅠ	1		芸術の表現		1
英語スキルⅡ	1		映像を読む		2
英語スキルⅢ		1	教育をみつめて		2
英語スキルⅣ		1	哲学と思考		2
日本語スキルA		2	<b>(社会リテラシー)</b> 現代社会と法		2
日本語スキルB		2	日本の憲法		2
情報スキル入門		2	政治と社会		2
情報スキル活用		2	現代経済とビジネス		2
<b>【外国語教育科目】</b> 留学英語A (TOEFL)		1	生活環境と人間		2
留学英語B (TOEFL)		1	心と身体		2
資格英語A (英検)		1	<b>(科学技術リテラシー)</b> 数学の思考法		2
資格英語B (TOEIC)		1	物理と自然		2
パセオアカデミック L&S A		2	化学と物質		2
パセオアカデミック L&S B		2	生物と環境		2
パセオアカデミック R&W A		2	生命と医療		2
パセオアカデミック R&W B		2	科学技術と社会		2
パセオコンテンツ A		1	地球と生命		2
パセオコンテンツ B		1	<b>【特別課題教育科目】</b> 人類と資源		2
ドイツ語入門Ⅰ		1	持続学のすすめ		2
ドイツ語入門Ⅱ		1	地域の防災と安全		2
フランス語入門Ⅰ		1	地球を観る		2
フランス語入門Ⅱ		1	グローバル環境論		2
中国語入門Ⅰ		1	地域共生実践		2
中国語入門Ⅱ		1	<b>【健康とスポーツ】</b> 健康科学	1	
スペイン語入門Ⅰ		1	スポーツA		1
スペイン語入門Ⅱ		1	スポーツB		1
ポルトガル語入門Ⅰ		1	スポーツC		1
ポルトガル語入門Ⅱ		1	<b>【スポーツ活動】</b> スポーツ活動A		1
韓国語入門Ⅰ		1	スポーツ活動B		1
韓国語入門Ⅱ		1	スポーツ活動C		1
実践外国語A		1	スポーツ活動D		1
実践外国語B		1	スポーツ活動E		1
語学研修A		1	スポーツ活動F		1
語学研修B		1	スポーツ活動G		1
			スポーツ活動H		1

※ スキル教育科目の内、英語スキルⅠ及び英語スキルⅡは、国際関係学部国際学科、人文学部英語英米文化学科においては、選択とする。

工学部 機械工学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【工学部共通教育科目】</b>		
<b>(共通基礎科目)</b>		
基礎数学		3
基礎物理学		2
微分積分学Ⅰ	3	
微分積分学Ⅱ	3	
線形代数		3
力学		2
物質の科学		2
基礎化学		2
創造理工学実験Ⅰ	2	
創造理工学実験Ⅱ	2	
基礎化学実験		2
<b>(専門基盤科目)</b>		
ベクトル解析		2
確率統計学		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
<b>(複合領域科目)</b>		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
図学		2
コンピュータ支援工学 A		1
コンピュータ支援工学 B		2
創成工学 A		2
創成工学 B		1
社会と工学		2
企業と工学		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
<b>【学科専門教育科目】</b>		
<b>(機械工学基礎)</b>		
工業力学	3	
工業力学応用		2
<b>(力学・制御分野)</b>		
材料力学 A	2	
材料力学 A 演習	1	
材料力学 B		2
材料力学 C		2
機械力学 A	2	
機械力学 B		2
制御工学 A	2	
制御工学 B		2
計測工学		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
ロボット工学		2
<b>(エネルギー・流体分野)</b>		
熱力学 A	2	
熱力学 B		2
伝熱工学		2
エネルギー変換		2
水力学 A	2	
水力学 B		2
流体工学		2
<b>(生産プロセス分野)</b>		
機械材料学 A	2	
機械材料学 B		2
機械材料学 C		2
生産加工学 A	2	
生産加工学 B		2
生産加工学 C		2
<b>(メカトロ基礎)</b>		
電子計算機応用		2
電気回路		2
電子応用機器		2
<b>(工学設計)</b>		
機械製図 A	1	
機械製図 B	1	
機構学		2
機械設計 A	2	
機械設計 B	2	
CAD 製図	1	
機械設計製図 A	1	
機械設計製図 B		1
CAD/CAM		1
コンピュータ応用工学		1
<b>(総合機械工学)</b>		
機械工学実習 A	2	
機械工学実習 B	2	
機械工学実験 A	2	
機械工学実験 B	2	
機械創成実習		2
創造工学演習		1
先端機械工学 A		2
先端機械工学 B		1
総合機械工学		1
自動車工学		2
航空宇宙工学		2
工作機械		2
機械工学技術英語 A		1
機械工学技術英語 B		1
総合工学概論		2
<卒業研究>	4	



工学部 機械工学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	24 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む]		
	外国語教育科目				
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部 教育 科目	学部共通教育科目		学科で定める必修科目を含めて 16 単位 以上	84 単位 以上	
	学科専門教育科目		学科で定める必修科目を含めて 68 単位 以上		
			卒業研究（必修）		

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【工学部共通教育科目】</b>		
<b>(共通基礎科目)</b>		
基礎数学		3
基礎物理学		2
微分積分学Ⅰ	3	
微分積分学Ⅱ	3	
線形代数	3	
力学		2
物質の科学		2
基礎化学		2
創造理工学実験Ⅰ	2	
創造理工学実験Ⅱ	2	
基礎化学実験		2
<b>(専門基盤科目)</b>		
ベクトル解析		2
確率統計学		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
<b>(複合領域科目)</b>		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
図学		2
コンピュータ支援工学 A		1
コンピュータ支援工学 B		2
創成工学 A		2
創成工学 B		1
社会と工学		2
企業と工学		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
<b>【学科専門教育科目】</b>		
<b>(電気電子基礎学)</b>		
電気数学演習	1	
電気磁気学Ⅰ	2	
電気磁気学Ⅱ	2	
電気磁気学Ⅲ	3	
電気回路 AⅠ	2	
電気回路 AⅡ	2	
電気回路演習Ⅰ	1	
電気回路演習Ⅱ	1	
電気回路 BⅠ	2	
電気回路 BⅡ		2
電子回路Ⅰ	2	
電子回路Ⅱ		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>(電力・設備)</b>		
電力工学	2	
電力応用システム		2
電力設備システム		2
放電プラズマ・絶縁工学		2
新エネルギーシステム		2
電力システム工学		2
電気化学		2
電気法規及び施設管理		2
<b>(電機・計測制御)</b>		
電気エネルギー変換機器Ⅰ		2
電気エネルギー変換機器Ⅱ		2
パワーエレクトロニクス A		2
パワーエレクトロニクス B		2
電気計測	2	
自動制御		2
電子計測システム		2
シーケンス工学		2
電機システム制御		2
電気設計及び製図		2
<b>(材料・デバイス)</b>		
電気電子材料	2	
物性科学		2
半導体工学		2
電子デバイス工学	2	
光エレクトロニクス		2
<b>(システム・通信)</b>		
情報基礎		2
数値計算		2
デジタル回路	2	
プログラミングⅠ		2
プログラミングⅡ		2
プログラミングⅢ		2
デジタル信号処理		2
電磁波工学		2
通信方式		2
通信システム		2
ワイヤレス通信		2
通信法規		2
<b>(実験実習等)</b>		
電気電子工学実験 A	2	
電気電子工学実験 B	2	
電気電子工学実験 C	2	
電気電子工学実験 D	2	
電気電子工学実験 E	2	
電気電子創成工学 A		1
電気電子創成工学 B		1
電気電子創成工学 C		1
電気電子創成工学 D		1
ゼミナール A		1

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
ゼミナール B		1
機械工学概論		2
電気電子技術英語		1
総合工学概論		2
<卒業研究>	4	

工学部 電気電子システム工学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位		24 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目		8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む]			
	外国語教育科目					
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上				
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通教育科目		学科で定める必修科目を含めて	16 単位 以上	84 単位 以上	
	学科専門教育科目		学科で定める必修科目を含めて	68 単位 以上		
			卒業研究（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 都市建設工学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【工学部共通教育科目】</b>		
<b>(共通基礎科目)</b>		
基礎数学		3
基礎物理学		2
微分積分学Ⅰ		3
微分積分学Ⅱ		3
線形代数		3
力学		2
物質の科学		2
基礎化学		2
創造理工学実験Ⅰ	2	
創造理工学実験Ⅱ		2
基礎化学実験		2
<b>(専門基盤科目)</b>		
ベクトル解析		2
確率統計学		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
<b>(複合領域科目)</b>		
管理工学		2
環境工学	2	
安全工学		2
工学倫理	2	
図学		2
コンピュータ支援工学A		1
コンピュータ支援工学B		2
創成工学A		2
創成工学B		1
社会と工学		2
企業と工学		2
インターンシップA		1
インターンシップB		2
<b>【学科専門教育科目】</b>		
<b>(建設一般)</b>		
建設基礎数学	2	
建設応用数学	2	
基本製図	1	
測量学講義・実習Ⅰ	3	
測量学講義・実習Ⅱ		3
都市情報化実習		1
建設技術英語	1	
特別講義	2	
総合講義	2	
施工法		2
都市建設工学自主活動A		1
都市建設工学自主活動B		1
機械工学概論		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
電気工学概論		2
建築学概論		2
総合工学概論		2
<b>(建設構造)</b>		
構造力学Ⅰ	2	
構造力学Ⅰ演習	1	
構造力学Ⅱ		2
鋼・コンクリート構造設計学		2
<b>(建設材料)</b>		
建設材料学	2	
建設材料実験	2	
コンクリート工学Ⅰ	2	
コンクリート工学Ⅱ		2
コンクリート工学演習		1
維持管理工学		2
<b>(都市水工)</b>		
水理学Ⅰ	2	
水理学Ⅰ演習	1	
水理学Ⅱ		2
水道工学		2
河川工学		2
海岸工学		2
<b>(地盤防災)</b>		
土の力学Ⅰ	2	
土の力学実験演習Ⅰ	2	
土の力学Ⅱ		2
土の力学実験演習Ⅱ		2
地盤工学		2
地盤設計学		2
<b>(都市環境)</b>		
都市と環境	2	
社会システム計画		2
交通システム学		2
都市計画		2
まちづくり工学		2
建設環境工学		2
都市防災工学		2
<b>(創成科目)</b>		
建設創成工学	2	
部門創成A	2	
部門創成B	2	
<卒業研究>	4	

工学部 都市建設工学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位		24 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目		8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む]			
	外国語教育科目					
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上				
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通教育科目		学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	14 単位 以上	84 単位 以上	
	学科専門教育科目		学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	70 単位 以上		
			卒業研究（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 建築学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【工学部共通教育科目】</b>		
<b>(共通基礎科目)</b>		
基礎数学		3
基礎物理学		2
微分積分学Ⅰ		3
微分積分学Ⅱ		3
線形代数		3
力学		2
物質の科学		2
基礎化学		2
創造理工学実験Ⅰ	2	
創造理工学実験Ⅱ		2
基礎化学実験		2
<b>(専門基盤科目)</b>		
ベクトル解析		2
確率統計学		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
<b>(複合領域科目)</b>		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
図学		2
コンピュータ支援工学A		1
コンピュータ支援工学B		2
創成工学A		2
創成工学B		1
社会と工学		2
企業と工学		2
インターンシップA		1
インターンシップB		2
<b>【学科専門教育科目】</b>		
<b>(建築計画・都市計画)</b>		
建築計画A	2	
建築計画B	2	
建築計画C		2
都市計画	2	
地域住宅計画		2
建築・都市計画演習		2
<b>(構造力学・建築構造学)</b>		
構造力学Ⅰ	2	
構造力学Ⅱ	2	
構造力学Ⅲ		2
構造設計A	2	
構造設計B		2
建築設計C		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
構造力学演習	1	
構造計画演習		2
<b>(建築材料・施工)</b>		
建築構法Ⅰ	2	
建築構法Ⅱ	2	
建築生産概論	2	
建築材料Ⅰ	2	
建築材料Ⅱ		2
建築施工計画	2	
建築施工管理		2
建築材料演習		2
<b>(建築環境・設備)</b>		
建築環境工学A	2	
建築環境工学B	2	
建築設備A	2	
建築設備B		2
建築環境システム演習		2
<b>(建築デザイン)</b>		
基礎製図A	2	
基礎製図B	2	
建築CAD演習	1	
建築デザイン基礎	2	
建築デザインⅠ	2	
建築デザインⅡ	2	
建築デザインⅢ	2	
建築デザインⅣ		2
<b>(建築と社会・歴史)</b>		
建築と社会A	2	
建築と社会B	2	
建築史A	2	
建築史B		2
建築史C		2
<b>(建築学一般)</b>		
建築学入門	2	
建築数理	2	
建築法規	2	
建築防災	2	
建築工学演習	2	
ゼミナールA		1
ゼミナールB		1
建築自主活動A		1
建築自主活動B		1
総合工学概論		2
<卒業研究>	4	

工学部 建築学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位		24 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目		8 単位以上 [英語必修科目 2 単位、英語またはその他の 外国語 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報 スキル 2 単位を含む]			
	外国語教育科目					
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上				
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通教育科目		学科で定める必修科目を含めて	6 単位 以上	84 単位 以上	
	学科専門教育科目		学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	68 単位 以上		
		卒業研究（必修）				

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。





工学部 応用化学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	24 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む]		
	外国語教育科目				
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部 教育 科目	学部共通教育科目		学科で定める必修科目を含めて 16 単位 以上	84 単位 以上	
	学科専門教育科目		学科で定める必修科目を含めて 68 単位 以上		
			卒業研究（必修）		

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 情報工学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【工学部共通教育科目】</b>					
<b>(共通基礎科目)</b>					
基礎数学		3	オブジェクト指向言語		3
基礎物理学		2	ソフトウェア工学		2
微分積分学Ⅰ	3		データベース	2	
微分積分学Ⅱ		3	データベース演習		1
線形代数	3		<b>(情報通信と高度情報処理)</b>		
力学		2	情報セキュリティ	2	
物質の科学		2	情報理論		2
基礎化学		2	通信ネットワーク		2
創造理工学実験Ⅰ	2		画像情報処理		2
創造理工学実験Ⅱ		2	コンピュータグラフィックス		2
基礎化学実験		2	知能情報工学		2
<b>(専門基盤科目)</b>			機械学習		2
ベクトル解析		2	数値解析	2	
確率統計学		2	オペレーションズリサーチ		2
微分方程式		2	<b>(回路と信号処理)</b>		
応用数学		2	デジタル回路	2	
基礎電磁気学		2	システム制御工学		2
熱学		2	デジタル信号処理		2
基礎材料化学		2	音声情報処理		2
生物と工学		2	<b>(総合情報工学)</b>		
<b>(複合領域科目)</b>			情報工学実験Ⅰ	1	
管理工学		2	情報工学実験Ⅱ	1	
環境工学		2	情報技術者演習A		1
安全工学		2	情報技術者演習B		1
工学倫理		2	情報技術英語A		1
図学		2	情報技術英語B		1
コンピュータ支援工学A		1	企業情報システムと倫理		2
コンピュータ支援工学B		2	創成A	1	
創成工学A		2	創成B		2
創成工学B		1	創成C		2
社会と工学		2	創成D		2
企業と工学		2	情報工学ゼミナールA	1	
インターンシップA		1	情報工学ゼミナールB	1	
インターンシップB		2	総合工学概論		2
<b>【学科専門教育科目】</b>			<卒業研究>	4	
<b>(離散数学)</b>					
情報数学	2				
形式言語とオートマトン		2			
<b>(計算機システム)</b>					
計算機アーキテクチャ	2				
オペレーティングシステム		2			
コンパイラ		2			
<b>(ソフトウェアとプログラミング)</b>					
データ構造とアルゴリズム	2				
計算論とプログラミング言語論		2			
情報処理演習	1				
C言語基礎	3				
C言語応用	3				
プログラム演習	1				

工学部 情報工学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		24 単位 以上	124 単位 以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	8 単位以上 [英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）、 日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を 含む]				
	外国語教育科目					
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通教育科目	学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	12 単位 以上	84 単位 以上		
	学科専門教育科目	学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	72 単位 以上			
		卒業研究（必修）				

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 ロボット理工学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【工学部共通教育科目】</b>					
<b>(共通基礎科目)</b>			ロボットオペレーティングシステム	2	
基礎数学		3	ロボットプログラミングⅡ	2	
基礎物理学		2	ロボットビジョン		2
微分積分学Ⅰ	3		機械学習		2
微分積分学Ⅱ		3	<b>(制御・信号処理)</b>		
線形代数	3		電気回路	2	
力学		2	アナログ電子回路	2	
物質の科学		2	デジタル電子回路	2	
基礎化学		2	自動制御工学	2	
創造理工学実験Ⅰ	2		アクチュエータ工学	2	
創造理工学実験Ⅱ		2	制御回路設計	2	
基礎化学実験		2	デジタル信号処理	2	
<b>(専門基盤科目)</b>			センサ工学	2	
ベクトル解析		2	ロボットモーション	2	
確率統計学		2	ロボットインテリジェンス		2
微分方程式		2	ロボットフロンティア		2
応用数学		2	<b>(生体・医療科学)</b>		
基礎電磁気学		2	生体の構造と機能	2	
熱学		2	ヒューマンロボットインタラクション		2
基礎材料化学		2	医療工学		2
生物と工学		2	<b>(創成科目)</b>		
<b>(複合領域科目)</b>			ロボット理工学Ⅰ	2	
管理工学		2	ロボット理工学Ⅱ	2	
環境工学		2	加工実習	2	
安全工学		2	プロジェクト演習A	1	
工学倫理		2	プロジェクト演習B	1	
図学		2	プロジェクト演習C	1	
コンピュータ支援工学A		1	ロボット理工学演習A	1	
コンピュータ支援工学B		2	ロボット理工学演習B	1	
創成工学A		2	ロボット理工学演習C	1	
創成工学B		1	プロダクトデザイン		2
社会と工学		2	ゼミナールA	1	
企業と工学		2	ゼミナールB	1	
インターンシップA		1	リフレッシュ英語A		1
インターンシップB		2	リフレッシュ英語B		1
<b>【学科専門教育科目】</b>			英語コミュニケーションA	1	
<b>(理学)</b>			英語コミュニケーションB	1	
初等力学	2		科学技術英語A		1
ロボット数学	2		科学技術英語B		1
材料力学	2		自主活動A		1
マルチボディダイナミクスⅠ	2		自主活動B		1
マルチボディダイナミクスⅡ	2		<卒業研究>	4	
<b>(工学設計)</b>					
ロボット製図	1				
材料科学	2				
加工学		2			
ロボット工学概論	2				
<b>(プログラミング)</b>					
ロボットプログラミング入門	2				
ロボットプログラミングⅠ	2				

工学部 ロボット理工学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		24 単位 以上	124 単位 以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	8 単位以上				
	外国語教育科目	[英語スキル I、II 科目 2 単位を含む]				
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通教育科目	学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	16 単位 以上	84 単位 以上		
	学科専門教育科目	学科で定める必修科目・選択必修 科目を含めて	68 単位 以上			
		卒業研究（必修）				

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

工学部 宇宙航空理工学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【工学部共通教育科目】</b>		
<b>(共通基礎科目)</b>		
基礎数学		3
基礎物理学		2
微分積分学Ⅰ	3	
微分積分学Ⅱ	3	
線形代数	3	
力学		2
物質の科学		2
基礎化学		2
創造理工学実験Ⅰ	2	
創造理工学実験Ⅱ	2	
基礎化学実験		2
<b>(専門基盤科目)</b>		
ベクトル解析		2
確率統計学		2
微分方程式		2
応用数学		2
基礎電磁気学		2
熱学		2
基礎材料化学		2
生物と工学		2
<b>(複合領域科目)</b>		
管理工学		2
環境工学		2
安全工学		2
工学倫理		2
図学		2
コンピュータ支援工学 A		1
コンピュータ支援工学 B		2
創成工学 A		2
創成工学 B		1
社会と工学		2
企業と工学		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
<b>【学科専門教育科目】</b>		
<b>(理学)</b>		
力学基礎	2	
力学基礎演習	1	
振動・波動学		2
電磁気学	2	
電磁気学演習	1	
<b>(空力・推進)</b>		
流体力学	2	
流体力学演習	1	
空気力学		2
熱力学	2	
熱力学演習	1	
伝熱工学		2
宇宙航空プラズマ理工学		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
ジェットエンジン		2
<b>(材力・構造・生産工学)</b>		
材料力学	2	
材料力学演習	1	
構造力学		2
構造力学演習		1
航空宇宙材料		2
航空宇宙機生産工学		2
<b>(制御・飛行力学・宇宙)</b>		
制御工学	2	
制御工学演習	1	
飛行力学		2
電気・電子回路	2	
電気・電子回路演習	1	
MATLAB 演習		1
メカトロニクス		2
宇宙航空デバイス		2
ソフトウェア		2
宇宙航行・宇宙利用		2
宇宙空間情報応用		2
<b>(航空宇宙機設計)</b>		
航空宇宙機設計演習	1	
ロケット工学		2
衛星システム		2
ヘリコプター工学		2
装備品		2
機械製図	2	
CAD・CATIA		1
<b>(総合宇宙航空理工学)</b>		
宇宙航空理工学概論	2	
機械実習 A	1	
機械実習 B	1	
宇宙航空理工学実験 A	1	
宇宙航空理工学実験 B	1	
宇宙航空理工学特別講義 A		1
宇宙航空理工学特別講義 B		1
先端宇宙航空理工学		2
工場見学	1	
工場実習 A	1	
工場実習 B		1
経営工学		2
宇宙航空理工学科学技術英語 A	2	
宇宙航空理工学科学技術英語 B		2
宇宙航空理工学科学技術英語 C		2
<卒業研究>	4	

工学部 宇宙航空理工学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		24 単位 以上	124 単位 以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	8 単位以上[英語 4 単位 (必修科目 2 単位を 含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む]				
	外国語教育科目					
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通教育科目	学科で定める必修科目を含めて	16 単位 以上	84 単位 以上		
	学科専門教育科目	学科で定める必修科目を含めて	68 単位 以上			
		卒業研究（必修）				

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。



経営情報学部 経営総合学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学部コア科目Ⅰ】</b>		
経営学入門		2
経営総合		2
情報システム入門		2
情報と社会		2
会計学入門		2
簿記入門		2
<b>【学部基本科目】</b>		
<b>(経営)</b>		
現代企業論		2
経営組織論		2
流通論		2
マーケティング論 A		2
生産管理論		2
<b>(情報)</b>		
IT 戦略と情報システム		2
プロジェクトマネジメント入門		2
<b>(会計)</b>		
簿記原理		2
上級簿記論		2
株式会社社会論		2
工業簿記論		2
原価計算論		2
経営分析入門		2
<b>(経済)</b>		
経済学基礎		2
ミクロ経済学入門		2
マクロ経済学入門		2
<b>(法律)</b>		
法学基礎		2
民法		2
<b>(ファイナンス)</b>		
ビジネスデータ分析入門		2
ファイナンス入門		2
<b>(関連分野)</b>		
レポート・論文作成法		2
ビジネス英語入門 A (導入)		2
ビジネス英語入門 B (発展)		2
自主活動 A		1
自主活動 B		1
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
<b>【学部専門科目】</b>		
<b>(経営)</b>		
経営戦略論		2
中小企業経営		2
ベンチャービジネス		2
研究開発論		2
国際経営論		2
SCM 入門		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
中部経済と産業		2
環境マネジメント		2
組織行動論		2
組織デザイン		2
人的資源マネジメント		2
マーケティング論 B		2
広告論		2
消費者行動論		2
キャリア開発論		2
キャリアマネジメント		2
スポーツマネジメント		2
スポーツコーチング論		2
<b>(情報)</b>		
情報処理入門		2
プログラミング入門		3
データ構造とデータベース		2
ビジネス情報		2
応用ビジネス情報		2
情報セキュリティ		2
Web デザイン		2
ネットワーク活用		2
<b>(会計)</b>		
財務会計論 A (制度)		2
財務会計論 B (連結)		2
経営分析論		2
投資決定論		2
国際会計論		2
会計情報システム論		2
管理会計論		2
監査論		2
<b>(経済)</b>		
金融論		2
公共経済学		2
国際経済学		2
<b>(法律)</b>		
企業法		2
電子社会と法		2
<b>(ファイナンス)</b>		
ファイナンス論		2
<b>(関連分野)</b>		
英書講読 A		2
英書講読 B		2
特別講義 A		2
特別講義 B		2
<b>【学部コア科目Ⅱ】</b>		
基礎ゼミナール		1
入門ゼミナール A		1
入門ゼミナール B		1
専門ゼミナール I		1
専門ゼミナール II		1
卒業演習 I		1
卒業演習 II		1
<卒業研究>		4

経営情報学部 経営総合学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位	24 単位 以上	124 単位 以上	
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目	8 単位以上			
	外国語教育科目	[英語必修科目 2 単位、日本語スキル 2 単位、 情報スキル 2 単位を含む]			
	教養課題 教育科目	人文リテラシー			14 単位以上
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上				
スポーツ活動					
学部 教育 科目	学部コア科目 I	8 単位以上	84 単位 以上		
	学部基本科目	24 単位以上			
	学部専門科目				
	学部コア科目 II	必修科目 7 単位 卒業研究（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

国際関係学部 国際学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学科基礎科目】</b>		
<b>(導入科目)</b>		
国際関係入門		2
地域研究入門		2
法学概論		2
経済学概論		2
政治学概論		2
世界史概論		2
文化人類学入門		2
社会学入門		2
世界の言語		2
アジア研究入門		2
<b>(地域研究科目)</b>		
東アジアから学ぶ A		2
東アジアから学ぶ B		2
東南アジアから学ぶ		2
アフリカから学ぶ		2
西アジアから学ぶ		2
ヨーロッパから学ぶ		2
ラテンアメリカから学ぶ		2
北米から学ぶ		2
<b>(国際英語科目)</b>		
国際英語 I A		1
国際英語 I B		1
国際英語 I C		1
国際英語 II A		1
国際英語 II B		1
国際英語 II C		1
国際英語 III		2
国際英語 IV		2
<b>(中国語科目)</b>		
中国語 A		2
中国語 B		2
中国語 C		1
中国語 D		1
<b>(地域言語科目)</b>		
ドイツ語 I		2
ドイツ語 II		2
フランス語 I		2
フランス語 II		2
スペイン語 I		2
スペイン語 II		2
韓国語 I		2
韓国語 II		2
<b>【学科専門科目】</b>		
<b>(アドバンスト英語科目)</b>		
国際ビジネス英語 A		1
国際ビジネス英語 B		1
国際時事英語		1
国際観光・ホテル英語		1

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>(アドバンスト中国語科目)</b>		
ビジネス中国語 A		2
ビジネス中国語 B		2
資格中国語 A		2
資格中国語 B		2
<b>(国際政治経済科目)</b>		
国際関係論		2
国際政治学		2
国際政治史		2
国際法		2
国際機構		2
国際経済学		2
国際金融論		2
国際協力論		2
国際公共政策論		2
<b>(多文化共生科目)</b>		
文化人類学		2
社会学		2
宗教人類学		2
比較宗教学		2
社会思想史		2
フィールドワーク論		2
考古学		2
観光文化論		2
地誌 A		2
地誌 B		2
人文地理学		2
人間と環境		2
文芸と社会		2
西洋文化史		2
世界遺産を学ぶ		2
博物館と文化		2
<b>(世界と日本研究科目)</b>		
国際ジェンダー論		2
比較社会学		2
グローバルビジネス論		2
民俗学		2
世界の中の日本		2
世界の民族音楽		2
日本の歴史 A		2
日本の歴史 B		2
音声学		2
日本語教授法 A		2
日本語教授法 B		2
日本語教授法 C		2
日本語教授法 D		2
日本語教育実習		1
<b>【学科応用科目】</b>		
<b>(実践科目)</b>		
海外留学 A		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
海外留学 B		2
海外留学 C		2
海外留学 D		2
フィールドワーク		1
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
(国際創造プロジェクト・演習科目)		
ハイブリッド・プロジェクト A		1
ハイブリッド・プロジェクト B		1
ハイブリッド・プロジェクト C		1
ハイブリッド・プロジェクト D		1
国際基礎演習	1	
国際応用演習 A	1	
国際応用演習 B	1	
国際専門演習 A	1	
国際専門演習 B	1	
<卒業研究>	4	

国際関係学部 国際学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位	18 単位以上	124 単位以上	
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目	6 単位以上 [英語以外の外国語 2 単位、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む]			
	外国語教育科目				
	教養課題教育科目	人文リテラシー			10 単位以上
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上				
スポーツ活動					
学部教育科目	学部基礎科目	導入科目	8 単位以上		
		地域研究科目	6 単位以上		
		国際英語科目	6 単位以上		
		中国語科目			
		地域言語科目			
	学科専門科目	アドバンスト英語科目			
		アドバンスト中国語科目			
		国際政治経済科目	24 単位以上		
		多文化共生科目			
		世界と日本研究科目			
	学科応用科目	実践科目			
		国際創造プロジェクト・演習科目	必修科目を含めて 5 単位以上		
卒業研究		4 単位（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 日本語日本文化学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>		
図書館入門		2
情報サービス論		2
グローバル人文学		2
上級日本語表現		2
文系パソコン活用 A		1
文系パソコン活用 B		1
ビジネススキルアップ A		2
ビジネススキルアップ B		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
長期海外研修 A		2
長期海外研修 B		2
長期海外研修 C		2
長期海外研修 D		2
<b>【基礎科目】</b>		
<b>(言語分野)</b>		
日本語学入門 A		2
日本語学入門 B		2
日本語学文献講読 A		2
日本語学文献講読 B		2
日本語教育概論 A		2
日本語教育概論 B		2
<b>(文学分野)</b>		
日本文学入門 A		2
日本文学入門 B		2
近現代文学講読 A		2
近現代文学講読 B		2
古典文学講読 A		2
古典文学講読 B		2
<b>(文化分野)</b>		
日本文化史入門		2
民俗学入門		2
伝承文化入門		2
宗教学入門		2
日本文化文献講読 A		2
日本文化文献講読 B		2
日本文化文献講読 C		2
日本文化文献講読 D		2
<b>【研究科目】</b>		
<b>(言語分野)</b>		
日本語講義 A		2
日本語講義 B		2
日本語の歴史		2
日本語研究史		2
現代日本語論 A		2
現代日本語論 B		2
日本語教育学講義 A		2
日本語教育学講義 B		2
日本語教授法 A		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
日本語教授法 B		2
日本語教授法 C		2
日本語教授法 D		2
<b>(文学分野)</b>		
日本文学史 A		2
日本文学史 B		2
古典文学講義 A		2
古典文学講義 B		2
近現代文学講義 A		2
近現代文学講義 B		2
日本文学特講 A		2
日本文学特講 B		2
日本文学特講 C		2
日本文学特講 D		2
<b>(文化分野)</b>		
日本の文化 A		2
日本の文化 B		2
民俗調査研究法 A		2
民俗調査研究法 B		2
民間伝承論 A		2
民間伝承論 B		2
伝統芸能論		2
遊戯論		2
<b>【演習科目】</b>		
基礎演習	1	
日本語学演習 A		1
日本語学演習 B		1
日本文学演習 A		1
日本文学演習 B		1
日本文化演習 A		1
日本文化演習 B		1
<b>【関連科目】</b>		
書道 A		2
書道 B		2
言語学 A		2
言語学 B		2
考古学 A		2
考古学 B		2
比較文化論		2
漢文学		2
中国文学		2
日本語教育実習		1
<卒業研究>	4	

人文学部 日本語日本文化学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	18 単位以上	124 単位以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6 単位以上		
	外国語教育科目		[英語必修科目 2 単位を含む]		
	教養課題教育科目	人文リテラシー	10 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目			90 単位以上	
	基礎科目	言語分野	「入門」・「概論」科目から 12 単位以上、 「講読」科目から 4 単位以上取得		
		文学分野			
		文化分野			
	研究科目	言語分野	10 単位以上		
		文学分野			
		文化分野			
演習科目		必修科目を含めて 3 単位以上			
関連科目					
卒業研究		4 単位（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 英語英米文化学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>		
図書館入門		2
情報サービス論		2
グローバル人文学		2
上級日本語表現		2
文系パソコン活用 A		1
文系パソコン活用 B		1
ビジネススキルアップ A		2
ビジネススキルアップ B		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
長期海外研修 A		2
長期海外研修 B		2
長期海外研修 C		2
長期海外研修 D		2
<b>【基礎科目】</b>		
専門基礎	1	
言語学入門 A		2
言語学入門 B		2
英米文化入門 A		2
英米文化入門 B		2
異文化適応入門		2
<b>【英語コミュニケーション科目】</b>		
Integrated English A	2	
Integrated English B	2	
Integrated English C		2
Integrated English D		2
Integrated English E		2
Integrated English F		2
English for Academic Purposes A	2	
English for Academic Purposes B	2	
English for Academic Purposes C		2
English for Academic Purposes D		2
TOEIC 演習 A	1	
TOEIC 演習 B	1	
TOEIC 演習 C	1	
Communicative Grammar A		2
Communicative Grammar B		2
Academic Writing A	1	
Academic Writing B	1	
ビジネス英語 A		1
ビジネス英語 B		1
観光英語 A		1
観光英語 B		1
通訳英語		1
翻訳英語		1
発音クリニック		1
<b>【英語研究科目】</b>		
英語の発音 A		2
英語の発音 B		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
英語のしくみ A		2
英語のしくみ B		2
英語の歴史 A		2
英語の歴史 B		2
グローバル英語 A		2
グローバル英語 B		2
早期英語教育論 A		2
早期英語教育論 B		2
応用言語学 A		2
応用言語学 B		2
英語で学ぶ言語習得論 A		2
英語で学ぶ言語習得論 B		2
長期海外研修 E		2
長期海外研修 F		2
長期海外研修 G		2
<b>【英米文化研究科目】</b>		
英米の文学 A		2
英米の文学 B		2
英米の歴史と社会 A		2
英米の歴史と社会 B		2
英米の文化 A		2
英米の文化 B		2
日・欧・米比較文化論 A		2
日・欧・米比較文化論 B		2
異文化コミュニケーション論 A		2
異文化コミュニケーション論 B		2
英語で学ぶオーストラリア事情		2
英語で学ぶイギリス事情		2
英語で学ぶアメリカ事情		2
英語で学ぶ世界事情		2
長期海外研修 H		2
長期海外研修 I		2
長期海外研修 J		2
<b>【演習科目】</b>		
英語英米文化演習 A	1	
英語英米文化演習 B	1	
英語英米文化演習 C	1	
英語英米文化演習 D	1	
<b>【自主研究】</b>		
自主研究		1
English for Social Change		1
<b>【関連科目】</b>		
日本語教授法 A		2
日本語教授法 B		2
日本語教授法 C		2
日本語教授法 D		2
<卒業研究>	4	



人文学部 英語英米文化学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位	18 単位 以上	124 単位 以上	
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目	6 単位以上			
	外国語教育科目	[英語以外の外国語 2 単位以上を含む]			
	教養課題 教育科目	人文リテラシー			10 単位以上
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上				
スポーツ活動					
学部 教育 科目	学部共通科目		90 単位 以上		
	基礎科目	必修科目を含めて 8 単位以上			
	英語コミュニケーション科目	必修科目を含めて 28 単位以上			
	英語研究科目	32 単位以上			
	英米文化研究科目				
	演習科目	4 単位（必修）			
	自主研究				
	関連科目				
卒業研究	4 単位（必修）				

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			記録撮影技法		2
図書館入門		2	<b>【文化情報デザイン発展科目】</b>		
情報サービス論		2	データベース・デザイン A		1
グローバル人文学		2	データベース・デザイン B		1
上級日本語表現		2	Web デザイン A		2
文系パソコン活用 A		1	Web デザイン B		2
文系パソコン活用 B		1	言語情報デザイン A		2
ビジネススキルアップ A		2	言語情報デザイン B		2
ビジネススキルアップ B		2	映像情報デザイン A		2
インターンシップ A		1	映像情報デザイン B		2
インターンシップ B		2	映像情報デザイン C		2
インターンシップ C		1	映像情報デザイン D		2
長期海外研修 A		2	音響情報デザイン A		2
長期海外研修 B		2	音響情報デザイン B		2
長期海外研修 C		2	画像情報デザイン A		2
長期海外研究 D		2	画像情報デザイン B		2
<b>【文化情報デザイン基礎科目】</b>			アニメーションデザイン A		2
(基礎知識科目)			アニメーションデザイン B		2
社会学		2	<b>【プロジェクト科目】</b>		
心理学		2	フレッシュマンセミナー	1	
言語コミュニケーション		2	文化情報デザイン・プロジェクト A	1	
社会の心理		2	文化情報デザイン・プロジェクト B	1	
社会とことば		2	文化情報デザイン・プロジェクト C	1	
メディア論		2	文化情報デザイン・プロジェクト D	1	
(分析手法科目)			<b>【関連科目】</b>		
談話分析		2	日本語教授法 A		2
映像分析		2	日本語教授法 B		2
音響分析		2	日本語教授法 C		2
メディアアート分析		2	日本語教授法 D		2
(メディア文化情報リテラシー獲得科目)			行動科学 A		2
メディア・クリティシズム A	2		行動科学 B		2
メディア・クリティシズム B	2		現代思想		2
メディア文化史		2	世界の中の日本 (歴史)		2
メディアの法と倫理		2	女性の歴史		2
比較文化論		2	技術の歴史		2
<b>【文化情報デザイン応用科目】</b>			地域と環境		2
(メディア文化情報リテラシー運用科目)			日本地誌		2
ジャーナリズム論		2	法学概論		2
マス・メディア論		2	政治学概論		2
(社会情報科目)			哲学概論		2
政治とメディア		2	経済学概論		2
広告と表現		2	アジアの歴史 A		2
映画と社会		2	ヨーロッパの歴史		2
地域とメディア		2	地域と都市		2
(情報収集・提供科目)			伝承文化入門		2
情報デザイン A		1	民俗学入門		2
情報デザイン B		1	考古学 A		2
文化情報アーカイブ論		2	考古学 B		2
調査票調査法		2	<卒業研究>	4	
取材学		2			
ライフストーリー調査法		2			

人文学部 コミュニケーション学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	18 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6 単位以上		
	外国語教育科目		[外国語 4 単位（英語必修科目 2 単位を含む）、日本語スキル科目 2 単位を含む]		
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	10 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部 教育 科目	学部共通科目			90 単位 以上	
	文化情報 デザイン 基礎科目	基礎知識科目	必修を含めて 20 単位以上		
		分析手法科目			
		メディア文化情報 リテラシー獲得科目			
	文化情報 デザイン 応用科目	メディア文化情報 リテラシー運用科目	17 単位以上		
		社会情報科目			
		情報収集・提供科目			
	文化情報デザイン発展科目		15 単位以上		
	プロジェクト科目		5 単位（必修）		
	関連科目				
卒業研究		4 単位（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 心理学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			<b>(心理学関連科目)</b>		
図書館入門		2	精神疾患とその治療		2
情報サービス論		2	人体の構造と機能及び疾病		2
グローバル人文学		2	関係行政論		2
上級日本語表現		2	<b>【心理学特別講義科目】</b>		
文系パソコン活用 A		1	キャリアディベロップメント		2
文系パソコン活用 B		1	特講 A		
ビジネススキルアップ A		2	キャリアディベロップメント		2
ビジネススキルアップ B		2	特講 B		
インターンシップ A		1	応用心理学特講		2
インターンシップ B		2	<b>【実習演習科目】</b>		
インターンシップ C		1	心理演習 (実験)	2	
長期海外研修 A		2	心理演習 (調査)	2	
長期海外研修 B		2	心理演習 (認知)		2
長期海外研修 C		2	心理演習 (査定)		2
長期海外研修 D		2	心理演習 (面接)		2
<b>【心理学基礎科目】</b>			心理学実習		2
心理学概論	2		心理学プレゼミナール A	1	
心理学統計法		2	心理学プレゼミナール B	1	
臨床心理学概論		2	心理学ゼミナール I	1	
心理学統計法応用		2	心理学ゼミナール II	1	
心理データ解析 A		2	<b>【関連科目】</b>		
心理データ解析 B		2	社会学		2
心理学史		2	行動科学 A		2
心理学研究法		2	行動科学 B		2
心理学実験		2	現代社会と福祉		2
公認心理師の職責		2	哲学概論		2
<b>【心理学発展科目】</b>			経済学概論		2
<b>(基礎心理学)</b>			法学概論		2
感情・人格心理学		2	政治学概論		2
知覚・認知心理学		2	表現と倫理		2
社会・集団・家族心理学		2	現代思想		2
学習・言語心理学		2	世界の中の日本 (歴史)		2
障害者・障害児心理学		2	地域と環境		2
発達心理学		2	日本地誌		2
教育心理学 A		2	女性の歴史		2
教育心理学 B		2	技術の歴史		2
心理学的支援法		2	アジアの歴史 A		2
認知科学		2	ヨーロッパの歴史		2
神経・生理心理学		2	地域と都市		2
心理的アセスメント		2	<卒業研究>	4	
文化心理学		2			
社会心理学		2			
生涯発達心理学		2			
認知心理学文献購読		2			
<b>(実践心理学)</b>					
福祉心理学		2			
教育・学校心理学		2			
司法・犯罪心理学		2			
産業・組織心理学		2			
健康・医療心理学		2			

人文学部 心理学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	18 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6 単位以上		
	外国語教育科目		[英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む） を含む]		
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	10 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部 教育 科目	学部共通科目			90 単位 以上	
	心理学基礎科目		必修科目を含めて 12 単位以上		
	心理学発展 科目	基礎心理学	26 単位以上		
		実践心理学			
		心理学関連科目			
	心理学特別講義科目				
	実習演習科目		必修科目を含めて 8 単位以上		
関連科目					
卒業研究		4 単位（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

人文学部 歴史地理学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			<b>(研究科目)</b>		
図書館入門		2	日本史の文献を読む A		2
情報サービス論		2	日本史の文献を読む B		2
グローバル人文学		2	日本思想史の文献を読む		2
上級日本語表現		2	アジア史の文献を読む A		2
文系パソコン活用 A		1	アジア史の文献を読む B		2
文系パソコン活用 B		1	アメリカ史の文献を読む		2
ビジネススキルアップ A		2	ヨーロッパ史の文献を読む A		2
ビジネススキルアップ B		2	ヨーロッパ史の文献を読む B		2
インターンシップ A		1	技術から歴史を探る		2
インターンシップ B		2	美術から歴史を探る		2
インターンシップ C		1	史料学		2
長期海外研修 A		2	史料調査方法論		2
長期海外研修 B		2	史料講読基礎 A		2
長期海外研修 C		2	史料講読基礎 B		2
長期海外研修 D		2	<b>【地理学分野】</b>		
<b>【基礎科目】</b>			<b>(テーマ科目)</b>		
歴史学への案内	2		地域と歴史		2
地理学への案内	2		地域と都市		2
文献講読の基礎	2		地域と経済		2
地域調査の基礎	2		地域と情報		2
<b>【専門共通科目】</b>			地域と環境		2
歴史学の方法		2	地理学特殊講義 A		2
世界の中の日本 A (地理)		2	地理学特殊講義 B		2
世界の中の日本 B (歴史)		2	地理学特殊講義 C		2
現代日本の地域性		2	日本地誌		2
日本とアジア A (地理)		2	アジア地誌		2
日本とアジア B (歴史)		2	世界地誌		2
フィールドワーク A		1	<b>(実習科目)</b>		
フィールドワーク B		1	地理学実習		1
<b>【歴史学分野】</b>			地理学野外実習		1
<b>(テーマ科目)</b>			<b>(研究科目)</b>		
日本の古代		2	地理学野外研究		2
日本の中世		2	<b>【演習科目】</b>		
日本の近世		2	基礎演習	1	
日本の近代		2	専門演習 A		1
日本の現代		2	専門演習 B		1
日本思想史		2	専門演習 C		1
アジアの歴史 A		2	専門演習 D		1
アジアの歴史 B		2	<b>【関連科目】</b>		
アメリカの歴史		2	政治学概論		2
ヨーロッパの歴史 A		2	法学概論		2
ヨーロッパの歴史 B		2	経済学概論		2
技術の歴史		2	文化人類学入門		2
女性の歴史		2	比較文化論		2
郷土の歴史		2	社会学		2
歴史学特殊講義 A		2	民俗学入門 A		2
歴史学特殊講義 B		2	民俗学入門 B		2
歴史学特殊講義 C		2	考古学 A		2
歴史学特殊講義 D		2	考古学 B		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
現代と心		2
行動科学Ⅰ		2
行動科学Ⅱ		2
表現と倫理		2
<卒業研究>	4	

人文学部 歴史地理学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	18 単位以上	124 単位以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6 単位以上		
	外国語教育科目		[英語必修科目 2 単位を含む]		
	教養課題教育科目	人文リテラシー	10 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目			90 単位以上	
	基礎科目		8 単位（必修）		
	専門共通科目		6 単位以上		
	歴史学分野	テーマ科目	歴史学分野より 6 単位以上、地理学分野より 6 単位以上、計 20 単位以上		
		研究科目			
	地理学分野	テーマ科目			
		研究科目			
		実習科目			
	演習科目				必修科目を含めて 5 単位以上
関連科目					
卒業研究		4 単位（必修）			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。



応用生物学部 応用生物化学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学部教育科目】</b>		
<b>(学部基礎科目)</b>		
基礎数学		2
基礎化学		2
基礎生物学		2
基礎地学		2
無機化学		2
有機化学Ⅰ	2	
有機化学Ⅱ	2	
有機化学Ⅲ		2
微生物学Ⅰ	2	
微生物学Ⅱ		2
生物化学Ⅰ	2	
生物化学Ⅱ	2	
分子生物学Ⅰ	2	
分子生物学Ⅱ	2	
分析化学	2	
推計学入門		2
細胞生物学	2	
機器分析化学		2
物理化学		2
応用微生物学	2	
科学ジャーナル講読		2
基礎物理学		2
生物倫理学		2
基礎生物学・基礎化学実験	1	
分析化学実験	1	
有機化学実験	1	
微生物学実験	1	
食品化学基礎実験	1	
生物化学実験 A	1	
生物化学実験 B	1	
基礎物理学・基礎地学実験		1
<b>(学科専門科目)</b>		
バイオの世界		2
バイオ産業リスク予防学		2
生物情報リテラシー		2
分子生理学		2
天然物化学		2
プログラミング		2
生物有機化学		2
遺伝子工学		2
動物細胞工学		2
植物細胞工学		2
応用タンパク質科学		2
バイオインフォマティクス		2
生体防御学		2
ケミカルバイオロジー		2
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
微生物生態学		2
天然物化学実験	1	
分子生物学実験	1	
応用微生物学実験	1	
遺伝子工学実験	1	
応用生物化学 A	2	
応用生物化学 B	1	
農学概論		2
卒業研究	4	
<b>(関連科目)</b>		
環境問題入門		2
食品化学Ⅰ		2
食品化学Ⅱ		2
食品分析学		2
環境化学		2
食品衛生学		2
地球環境学		2
食品機能学		2
食料資源流通学		2
環境動物学		2
自然保護論		2

応用生物学部 応用生物化学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		24 単位以上	124 単位以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	8 単位以上				
	外国語教育科目	[英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む]				
	教養課題教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部教育科目	学部基礎科目	学科で定める必修科目を含めて	30 単位以上	82 単位以上		
	関連科目					
	学科専門科目	学科で定める必修科目を含めて				20 単位以上
卒業研究 (必修)						

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 環境生物科学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学部教育科目】</b>		
<b>(学部基礎科目)</b>		
基礎数学		2
基礎化学		2
基礎生物学		2
基礎地学		2
無機化学		2
有機化学Ⅰ	2	
有機化学Ⅱ	2	
有機化学Ⅲ		2
微生物学Ⅰ	2	
微生物学Ⅱ		2
生物化学Ⅰ	2	
生物化学Ⅱ		2
分子生物学Ⅰ	2	
分子生物学Ⅱ	2	
分析化学		2
推計学入門		2
細胞生物学	2	
機器分析化学		2
物理化学		2
応用微生物学		2
基礎物理学		2
生物倫理学		2
基礎生物学・基礎化学実験	1	
分析化学実験	1	
有機化学実験	1	
微生物学実験	1	
食品化学基礎実験	1	
生物化学実験 A	1	
生物化学実験 B	1	
基礎物理学・基礎地学実験		1
<b>(学科専門科目)</b>		
環境問題入門		2
環境生物科学入門		2
自然保護論		2
生物多様性概論		2
地球環境学		2
植物生理学		2
環境化学		2
動物生理学		2
環境動物学		2
生態学概論		2
環境分析学		2
細胞工学		2
環境工学		2
水質浄化論		2
環境評価学		2
バイオマス論		2
植物遺伝資源論		2
園芸生産学		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
環境生物科学セミナー	1	
環境植物学実験	1	
分子生物学実験	1	
環境分析実験	1	
土壌圏環境実験	1	
農学概論		2
卒業研究	4	
<b>(関連科目)</b>		
食品化学Ⅰ		2
食品化学Ⅱ		2
プログラミング		2
食品衛生学		2
バイオインフォマティクス		2

応用生物学部 環境生物科学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		24 単位以上	124 単位以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	8 単位以上				
	外国語教育科目	[英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む]				
	教養課題教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部教育科目	学部基礎科目	学科で定める必修科目を含めて	30 単位以上	82 単位以上		
	関連科目					
	学科専門科目	学科で定める必修科目を含めて				20 単位以上
卒業研究 (必修)						

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部教育科目】</b>			食品学実験	1	
<b>(学部基礎科目)</b>			食品分析学実験	1	
基礎数学		2	食品栄養・機能学実験	1	
基礎化学		2	食品製造・加工学実習		1
基礎生物学		2	農学概論		2
基礎地学		2	卒業研究	4	
無機化学		2	(関連科目)		
有機化学Ⅰ	2		環境問題入門		2
有機化学Ⅱ	2		環境化学		2
有機化学Ⅲ		2	動物生理学		2
微生物学Ⅰ	2		水質浄化論		2
微生物学Ⅱ		2	遺伝子工学		2
生物化学Ⅰ	2		バイオインフォマティクス		2
生物化学Ⅱ	2		ケミカルバイオロジー		2
分子生物学Ⅰ	2		地球環境学		2
分子生物学Ⅱ		2	応用タンパク質科学		2
分析化学		2	バイオマス論		2
推計学入門		2			
細胞生物学	2				
機器分析化学		2			
物理化学		2			
応用微生物学		2			
基礎物理学		2			
生物倫理学		2			
基礎生物学・基礎化学実験	1				
分析化学実験	1				
有機化学実験	1				
微生物学実験	1				
食品化学基礎実験	1				
生物化学実験 A	1				
生物化学実験 B	1				
基礎物理学・基礎地学実験		1			
<b>(専攻専門科目)</b>					
食糧問題入門		2			
基礎食品栄養科学		2			
食品栄養科学入門		2			
食品化学Ⅰ	2				
食品化学Ⅱ	2				
応用食品栄養科学		2			
食品分析学		2			
食品リスク予防学		2			
基礎食品栄養・機能学		2			
食品機能学		2			
食品製造加工学		2			
食品衛生学		2			
食料資源流通学		2			
栄養生化学		2			
インターンシップ A		1			
インターンシップ B		2			
インターンシップ C		1			
食品栄養科学セミナー	1				

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻 履修方法 (卒業の要件)

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		24 単位以上	124 単位以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	8 単位以上 [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む]				
	外国語教育科目					
	教養課題教育科目	人文リテラシー	14 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部教育科目	学部基礎科目	学科で定める必修科目を含めて	30 単位以上	82 単位以上		
	関連科目					
	専攻専門科目	専攻で定める必修科目を含めて				20 単位以上
卒業研究 (必修)						

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部教育科目】</b>			食品安全学	2	
<b>〔学部基礎科目〕</b>			食品学基礎実験	1	
基礎化学		2	食品機能学実験	1	
基礎生物学		2	食品安全学実験	1	
無機化学		2	食品分析学実験	1	
有機化学Ⅰ		2	調理学	2	
有機化学Ⅱ		2	基礎調理学実習	1	
微生物学Ⅰ		2	応用調理学実習	1	
微生物学Ⅱ		2	調理学実験	1	
分子生物学Ⅰ		2	(基礎栄養学)		
分子生物学Ⅱ		2	基礎栄養学Ⅰ	2	
分析化学		2	基礎栄養学Ⅱ	2	
推計学入門		2	栄養学実験	1	
細胞生物学		2	(応用栄養学)		
応用微生物学		2	応用栄養学	2	
科学ジャーナル講読		2	ライフステージ栄養学	2	
分析化学実験		1	スポーツ栄養学	2	
微生物学実験	1		応用栄養学実習	1	
<b>〔学科・専攻関連科目〕</b>			(栄養教育論)		
食糧問題入門		2	栄養教育論Ⅰ	2	
環境問題入門		2	栄養教育論Ⅱ	2	
食品栄養科学入門		2	栄養カウンセリング論	2	
環境化学		2	栄養教育演習	1	
動物生理学		2	栄養教育実習	1	
遺伝子工学		2	(臨床栄養学)		
バイオインフォマティクス		2	臨床栄養学総論	2	
ケミカルバイオロジー		2	臨床栄養学各論	2	
地球環境学		2	栄養アセスメント論	2	
応用タンパク質科学		2	栄養ケアマネジメント論	2	
バイオマス論		2	臨床栄養学実習	1	
園芸生産学		2	臨床栄養管理実習	1	
<b>〔専攻専門科目〕</b>			(公衆栄養学)		
(社会・環境と健康)			公衆栄養学	2	
健康管理概論	2		公衆栄養活動論	2	
健康心理学	2		食事調査演習	1	
公衆衛生学	2		公衆栄養学実習	1	
(人体の構造と機能及び疾病の成り立ち)			(給食経営管理論)		
生化学Ⅰ	2		給食経営管理論Ⅰ	2	
生化学Ⅱ	2		給食経営管理論Ⅱ	2	
基礎生化学実験	1		給食経営管理基礎実習	1	
生化学実験	1		給食経営管理応用実習	1	
形態機能学Ⅰ	2		(総合演習)		
形態機能学Ⅱ	2		管理栄養士総合基礎演習	1	
形態機能学実験	1		管理栄養士総合応用演習	1	
運動生理学	2		(臨地実習)		
臨床医科学Ⅰ	2		臨地実習演習	1	
臨床医科学Ⅱ	2		臨地実習	4	
(食べ物と健康)			(関連科目)		
食品学総論	2		現代食育論		2
食品学各論	2		海外研修		2
			食品機能学		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
食品製造加工学		2
学校栄養指導論		2
食品分析学		
社会福祉概論		2
健康栄養学特論		2
卒業演習		2
<卒業研究>	4	



応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻 履修方法 (卒業の要件)

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		22 単位 以上	124 単位 以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	8 単位以上 [英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、日本語スキル 2 単位、情報スキル 2 単位を含む]				
	外国語教育科目					
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	12 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部基礎科目	専攻で定める必修科目を含めて	6 単位 以上	102 単位 以上		
	学科・専攻関連科目					
	専攻専門科目	専攻で定める必修科目を含めて	91 単位 以上			
卒業研究 (必修)						

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 生命医科学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			臨床生理学		2
生命科学入門		1	放射線医学総論		2
医科学入門	1		(生命医科学 (演習))		
生と死の文化人類学		2	病態解析医学演習		1
リハビリテーション概論		1	分子制御医科学演習		1
生命工学入門		1	免疫・衛生学演習		1
<b>【生命健康科学基盤科目】</b>			形態・病理学演習		1
(人体の構造と機能)			医用工学演習		1
解剖・組織学	2		(生命医科学技術総合実習)		
生理学	2		組織・病理学基礎実習	2	
生化学	2		生体構築科学技術実習		1
栄養治療学		1	生化学系基礎実習	2	
生命物理化学		2	分子生物学基礎実習	2	
分子生物学概論	1		分子分析先端科学技術実習		1
臨床心理学		2	実験動物・基礎生理学実習	1	
(疾病と障害の病態及び医療)			微生物学実習		2
病理学	2		免疫学実習		1
臨床病理学		1	環境衛生学実習		1
薬理学		1	人体情報学実習		1
微生物学	2		(保健予防医科学)		
免疫学	1		保健予防医科学総論	1	
疾病病態学概論	2		感染症予防医科学		1
疾病治療学概論	2		医動物学		1
生体防御学		1	腫瘍医学		1
遺伝・実験動物学		1	医療情報・経済学		1
生涯発達看護論		1	精神医学		1
(保健医療と社会)			感染防御技術論		1
公衆衛生学		2	スポーツ医学		1
環境衛生学	2		予防栄養学		1
学校保健学		1	保健予防創薬基礎学		1
生命倫理学	1		(先端医用工学)		
社会福祉学		2	生体力学		2
<b>【学科専門科目】</b>			バイオメディカルマテリアル学		2
(生命医科学 (基礎))			医療計測・情報学		2
基礎生物学	2		医用機器学		2
基礎化学	2		先端医用工学実験		2
基礎物理学		2	(総合演習・研究)		
基礎数学		2	インターンシップ A		1
臨床化学		2	インターンシップ B		2
ゲノム科学・遺伝子操作論	2		インターンシップ C		1
分析化学		2	保健医療関連施設見学実習		1
睡眠医学		2	臨床検査総合実習		4
(生命医科学 (複合))			卒業演習	4	
生体高次構築科学		1	卒業研究	4	
分子感染論		1			
細胞基礎科学		1			
臨床検査総論 I		1			
臨床検査総論 II		1			
血液形態科学		1			
医療安全管理学		1			
臨床血液学		2			

生命健康科学部 生命医科学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		21 単位 以上	128 単 位以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	4 単位以上				
	外国語教育科目	[英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）を 含む。]				
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	12 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通科目	学科で定める必修科目を含め て	25 単位 以上	94 単位 以上		
	生命健康科学基盤科目					
	学科専門科目	学科で定める必修科目を含め て	53 単位 以上			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 保健看護学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>		
生命科学入門	1	
医科学入門		1
生と死の文化人類学		2
リハビリテーション概論		1
生命工学入門		1
<b>【生命健康科学基盤科目】</b> (人体の構造と機能)		
解剖学	2	
生理学	2	
生化学	2	
栄養治療学	1	
生命物理化学		2
分子生物学概論		1
(疾病と障害の病態及び医療)		
臨床心理学	2	
病理学	2	
臨床病理学		1
薬理学	2	
微生物学	2	
免疫学		1
疾病病態学 A	2	
疾病病態学 B	1	
疾病治療学概論	2	
生体防御学		1
遺伝・実験動物学		1
(保健医療と社会)		
公衆衛生学	2	
環境衛生学		2
生命倫理学		1
社会福祉学	2	
<b>【学科専門科目】</b> (看護介入領域)		
看護学概論	2	
看護学概論演習	1	
看護アセスメント実習	1	
看護倫理学概論	1	
人間関係論演習	1	
生活援助技術実習	2	
治療支援技術実習	2	
看護過程演習	2	
成人慢性期看護学Ⅰ	2	
成人慢性期看護学Ⅱ	1	
成人急性期看護学Ⅰ	2	
成人急性期看護学Ⅱ	1	
成人看護学実習	1	
老年看護学Ⅰ	1	
老年看護学Ⅱ	2	
老年看護学Ⅲ	1	
精神看護学Ⅰ	2	
精神看護学Ⅱ	1	

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
母性看護学Ⅰ	2	
母性看護学Ⅱ	2	
小児看護学Ⅰ	1	
小児看護学Ⅱ	2	
小児看護学Ⅲ	1	
在宅看護論Ⅰ	1	
在宅看護論Ⅱ	2	
在宅看護論Ⅲ	1	
公衆衛生看護学概論	2	
公衆衛生看護支援論		2
公衆衛生看護支援論演習		1
公衆衛生看護活動展開論		2
公衆衛生看護活動展開論演習		1
公衆衛生看護管理論演習		1
疫学・保健統計学Ⅰ	2	
疫学・保健統計学Ⅱ		2
保健医療福祉行政論Ⅰ	1	
保健医療福祉行政論Ⅱ		2
学校保健学	1	
養護活動論		2
(実践領域)		
生活援助臨地実習	1	
看護過程実践臨地実習	2	
成人慢性期看護学臨地実習	3	
成人急性期看護学臨地実習	3	
精神看護学臨地実習	2	
母性看護学臨地実習	2	
小児看護学臨地実習	2	
老年看護学臨地実習	4	
在宅看護論臨地実習	2	
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ		4
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ		1
統合看護臨地実習	2	
(看護発展領域)		
看護制度論	1	
看護マネジメント論	1	
ターミナルケア論		1
災害看護論	1	
国際看護論	1	
看護海外セミナー		2
総合看護論	2	
看護研究概論	2	
卒業研究	4	

生命健康科学部 保健看護学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位	21 単位以上	130 単位以上	
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目	4 単位以上			
	外国語教育科目	[英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）を含む。]			
	教養課題教育科目	人文リテラシー			12 単位以上
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上				
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目	学科で定める必修科目（104 単位）を含めて	106 単位以上		
	生命健康科学基盤科目				
	学科専門科目				

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 理学療法学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			小児科学	1	
生命科学入門	1		臨床検査総論		1
医科学入門	1		放射線医学総論		2
生と死の文化人類学		2	スポーツ医学	1	
リハビリテーション概論	1		栄養と疾病予防	1	
生命工学入門		1	臨床心理学演習		1
<b>【生命健康科学基盤科目】</b>			(リハビリテーション医学)		
(人体の構造と機能Ⅰ)			リハビリテーション医学 A (総論・神経系)	1	
解剖・組織学	2		リハビリテーション医学 B (運動器等)	1	
生理学	2		精神障害リハビリテーション	1	
生化学		1	リハビリテーション工学		1
栄養治療学		1	(医療英語)		
生命物理化学		2	医療英語 A (専門基礎系)		1
分子生物学概論		1	医療英語 B (理学・作業専門系)		1
(疾病と障害の病態及び医療)			<b>【学科専門科目】</b>		
病理学	1		(基礎理学療法学)		
臨床病理学		1	理学療法の基礎 A	2	
臨床心理学	1		理学療法の基礎 B	2	
生涯発達看護論		1	運動学実習	1	
薬理学	1		臨床運動学実習	1	
微生物学		2	(理学療法管理学)		
免疫学		1	理学療法管理学	2	
疾病病態学概論		2	(理学療法評価学)		
疾病治療学概論		2	理学療法評価学	2	
(保健医療と社会)			理学療法評価学演習	1	
公衆衛生学		2	理学療法評価学実習	1	
環境衛生学		2	臨床理学療法評価学演習	1	
学校保健学		1	疾患別評価学実習	2	
生命倫理学		1	(理学療法治療学)		
社会福祉学		1	日常生活活動治療学	2	
<b>【理学療法学科・作業療法学科</b>			日常生活活動治療学演習	1	
<b>共通専門基礎科目】</b>			運動障害理学療法学	2	
(人体の構造と機能Ⅱ)			中枢神経障害理学療法学	2	
臨床解剖学	1		内部障害理学療法学	2	
臨床解剖学実習	1		スポーツ外傷系理学療法学	2	
人体構造学演習	1		発達障害理学療法学	2	
体表解剖学実習	1		運動器系理学療法学実習	1	
臨床生理学	1		中枢神経系理学療法学実習	1	
臨床生理学実習	1		内部障害・メタボリック科学演習	1	
運動学	2		スポーツ外傷系理学療法学演習	1	
健康増進学		1	発達障害理学療法学演習		1
人間発達学	1		物理療法学	1	
(疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進)			物理療法学実習	1	
内科学	1		義肢装具学	1	
外科学	1		義肢装具学演習	1	
一般臨床医学	1		(地域理学療法学)		
臨床神経学	2		地域理学療法学	2	
精神医学	2		地域リハビリテーション学演習		1
老年医学	1				
整形外科学	2				

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
老年期障害理学療法学	1	
老年期障害理学療法学演習 (臨床実習)	1	
臨床見学実習	1	
地域リハビリテーション実習	1	
臨床評価実習	5	
臨床総合実習 (研究法)	13	
理学療法研究法		2
統計学		2
理学療法事例研究演習 A (内部 障害系)		1
理学療法事例研究演習 B (筋骨 格障害系)		1
理学療法事例研究演習 C (中枢 神経障害系)		1
卒業研究	4	

生命健康科学部 理学療法学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位	21 単位以上	128 単位以上	
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目	6 単位以上[英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、情報スキル入門 2 単位を含む。]			
	外国語教育科目				
	教養課題教育科目	人文リテラシー			12 単位以上
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
	健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目	必修科目を含めて 14 単位以上	107 単位以上		
	生命健康科学基盤科目				
	理学療法学科・作業療法学科共通専門基礎科目	必修科目を含めて 26 単位以上			
	学科専門科目	必修科目を含めて 67 単位以上			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。



生命健康科学部 作業療法学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			臨床神経学	2	
生命科学入門		1	精神医学	2	
医科学入門	1		老年医学	1	
生と死の文化人類学		2	整形外科学	2	
リハビリテーション概論	1		小児科学	1	
生命工学入門		1	臨床検査総論		1
<b>【生命健康科学基盤科目】</b>			放射線医学総論		2
<b>(人体の構造と機能Ⅰ)</b>			<b>(リハビリテーション医学)</b>		
解剖・組織学	2		リハビリテーション医学 A (総論・神経系)	1	
生理学	2		リハビリテーション医学 B (運動器等)	1	
生化学		1	精神障害リハビリテーション	1	
栄養治療学		1	リハビリテーション工学		1
生命物理化学		2	<b>(医療英語)</b>		
分子生物学概論		1	医療英語 A (専門基礎系)		1
<b>(疾病と障害の病態及び医療)</b>			医療英語 B (理学・作業専門系)		1
臨床心理学	1		<b>【学科専門科目】</b>		
病理学	1		<b>(基礎作業療法学)</b>		
臨床病理学		1	作業療法学入門	1	
薬理学	1		作業学講義	2	
微生物学		2	作業学実習 A (基礎)	1	
免疫学		1	作業学実習 B (応用)	1	
疾病病態学概論		2	<b>(作業療法管理学)</b>		
疾病治療学概論		2	作業療法管理学Ⅰ	1	
生涯発達看護論		1	作業療法管理学Ⅱ	1	
<b>(保健医療と社会)</b>			<b>(作業療法評価学)</b>		
公衆衛生学		2	運動障害評価学	2	
環境衛生学		2	精神障害評価学	2	
学校保健学		1	運動障害評価学実習	1	
生命倫理学		1	精神障害評価学実習	1	
社会福祉学		1	発達期障害評価学	2	
<b>【理学療法学科・作業療法学科共通専門基礎科目】</b>			発達期障害評価学実習	1	
<b>(人体の構造と機能Ⅱ)</b>			<b>(作業治療学)</b>		
臨床解剖学	1		運動障害作業療法学	2	
臨床解剖学実習	1		運動障害作業療法学演習	1	
体表解剖学及び実習	1		ハンドセラピー学		1
臨床生理学	1		中枢神経障害作業療法学	2	
臨床生理学実習	1		中枢神経障害作業療法学演習	1	
スポーツ医学		1	内部障害作業療法学	1	
作業運動学入門		2	高齢期障害作業療法学	1	
作業運動学	2		作業療法事例研究法	1	
作業運動学実習	1		精神障害作業療法学	2	
健康増進学		1	精神障害作業療法学演習	1	
人間発達学	1		認知・高次脳機能障害作業療法学	1	
<b>(疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進)</b>			S S T 入門		1
臨床心理学演習	1		発達期障害作業療法学Ⅰ	1	
栄養と疾病予防	1		発達期障害作業療法学Ⅱ	1	
内科学	1		発達期障害作業療法学演習	1	
外科学	1		装具作業療法学	2	
一般臨床医学	1		装具作業療法学演習		1

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
日常生活活動支援学	2	
日常生活活動支援学演習	1	
職業関連活動作業療法学	1	
ジョブコーチ入門		1
(地域作業療法学)		
地域作業療法学	1	
高齢期障害地域作業療法学	1	
精神障害地域作業療法学	1	
発達期障害地域作業療法学	1	
特別支援教育と作業療法		1
国際協力とリハビリテーション		1
生活環境論	1	
(臨床実習)		
作業療法入門実習	1	
臨床見学実習 A (I)	1	
臨床見学実習 A (II)	1	
臨床見学実習 B	1	
臨床評価実習		
総合臨床実習 A	3	
総合臨床実習 B	8	
(研究法)	8	
作業療法研究法		
作業療法研究法演習	1	
統計学	1	2
身体障害作業療法事例研究法演習		1
精神障害作業療法事例研究法演習		1
高齢期障害作業療法事例研究法演習		1
発達期障害作業療法事例研究法演習		1
高次脳機能作業療法事例研究法演習		1
卒業研究	4	

生命健康科学部 作業療法学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位	21 単位以上	128 単位以上	
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目	6 単位以上[英語 4 単位 (必修科目 2 単位を含む)、情報スキル入門 2 単位を含む。]			
	外国語教育科目				
	教養課題教育科目	人文リテラシー			12 単位以上
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
	健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目	必修科目を含めて 9 単位以上	107 単位以上		
	生命健康科学基盤科目				
	理学療法学科・作業療法学科共通専門基礎科目	必修科目を含めて 25 単位以上			
	学科専門科目	必修科目を含めて 72 単位以上			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 臨床工学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			<b>(保健医療と社会Ⅱ)</b>		
生命科学入門		1	感染症予防医科学		1
医科学入門	1		医療情報経済学		1
生と死の文化人類学		2	<b>(臨床工学の基礎)</b>		
リハビリテーション概論		1	臨床工学のための基礎物理学	2	
生命工学入門	1		臨床工学のための基礎数学	2	
<b>【生命健康科学基盤科目】</b>			応用数学	1	
<b>(人体の構造と機能Ⅰ)</b>			電気工学Ⅰ	2	
解剖・組織学	2		電気工学Ⅱ	2	
生理学	1		電磁気工学		1
生化学	1		電子工学Ⅰ	2	
栄養治療学		1	電子工学Ⅱ		2
生命物理化学		2	基礎工学実習	1	
分子生物学概論		1	電気工学実習	1	
<b>(疾病と障害の病態及び医療Ⅰ)</b>			電子工学実習	1	
病理学	1		機械工学	2	
臨床病理学		1	システム・制御工学	1	
薬理学	1		情報処理工学Ⅰ	2	
微生物学	2		情報処理工学Ⅱ		1
免疫学	1		情報処理工学実習	1	
疾病病態学概論		2	臨床工学概論	2	
疾病治療学概論		2	<b>(医療英語)</b>		
生体防御学		1	医療英語 A (専門基礎系)		1
遺伝・実験動物学		1	医療英語 B (臨床工学専門系)	1	
生涯発達看護論	1		<b>【学科専門科目】</b>		
臨床心理学		1	<b>(生体・医用工学)</b>		
<b>(保健医療と社会Ⅰ)</b>			バイオメディカルマテリアル学	2	
公衆衛生学	2		生体力学	1	
環境衛生学		2	物性工学	1	
学校保健学		1	計測工学	2	
生命倫理学	1		<b>(医用機器学)</b>		
社会福祉学		1	医療治療機器学 A (治療機器)	2	
<b>【学科専門基礎科目】</b>			医用治療機器学 B (手術用機器)	1	
<b>(人体の構造と機能Ⅱ)</b>			医用治療機器学実習	1	
基礎医学実習	1		生体計測装置学	1	
臨床生理学	1		生体計測装置学実習	1	
<b>(疾病と障害の病態及び医療Ⅱ)</b>			医用生体学演習	1	
臨床薬理学		1	<b>(生体機能代行技術学)</b>		
臨床微生物学		1	人工心肺装置学 A (基礎・原理・操作方法)	2	
内科学	1		人工心肺装置学 B (心筋保護・補助循環・自己血回収)	1	
内分泌・腎臓内科学		1	人工心肺装置学実習	1	
臨床血液学	1		血液浄化装置学 A (血液透析・腹膜透析)	2	
外科学	1		血液浄化装置学 B (血漿交換・吸着療法)	1	
一般臨床医学		1	血液浄化装置学実習	1	
臨床神経学		2	人工呼吸装置学 A (種類・原理・構造)	2	
老年医学		1			
小児科学		1			
感染防御技術論		1			
救急医学	1				
放射線医学総論	2				
臨床検査総論	1				

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
人工呼吸装置学 B (周辺機器・患者管理)	1	
人工呼吸装置学実習 (医用安全管理学)	1	
医用機器安全管理学 A (医用電気機器、医療ガスの安全管理)	2	
医用機器安全管理学 B (システム安全・電磁環境)	1	
医用機器安全管理学実習	1	
臨床工学関係法規 (臨床実習)	1	
臨床実習 A (血液浄化装置実習)	3	
臨床実習 B (手術室実習)	1	
臨床実習 C (集中治療室実習)	1	
臨床実習 D (医療機器管理業務実習) (演習・研究)	1	
総合基礎医学特論	2	
総合基礎工学特論	2	
臨床工学特論	2	
卒業研究	4	

生命健康科学部 臨床工学科 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位	21 単位以上	128 単位以上	
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目	4 単位以上[英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）を含む。]			
	外国語教育科目				
	教養課題教育科目	人文リテラシー			12 単位以上
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
	健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目	必修科目を含めて 15 単位以上	107 単位以上		
	生命健康科学基盤科目				
	学科専門基礎科目	必修科目を含めて 32 単位以上			
	学科専門科目	必修科目 46 単位			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 教育科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			脳外科学		1
生命科学入門		1	放射線医学総論		2
医科学入門	1		臨床検査総論		1
生と死の文化人類学		2	(保健医療に関わる救急医学)		
リハビリテーション概論		1	救急医学 A	2	
生命工学入門		1	救急医学 B		2
<b>【生命健康科学基盤科目】</b>			救急医学 C		1
(人体の構造と機能)			救急救命模擬実習 A		2
解剖・組織学	2		救急救命模擬実習 B		2
生理学	1		救急救命模擬実習 C		2
生化学	1		救急救命模擬実習 D		2
栄養治療学	1		救急救命模擬実習 E		2
生命物理化学		2	救急救命模擬実習 F		2
分子生物学概論		1	スポーツ医学	2	
臨床心理学		1	スポーツ障害等予防法実習	1	
(疾病と障害の病態及び医療)			救急関連施設見学実習		1
病理学	1		救急医学臨床実習 A		2
臨床病理学		1	救急医学臨床実習 B		2
薬理学	1		(保健医療の基本)		
微生物学		2	人間関係学概論		2
免疫学	1		予防医療総論	2	
疾病病態学概論		2	健康管理・増進学	2	
疾病治療学概論		2	保健心理学	2	
生体防御学		1	健康栄養医学		2
遺伝・実験動物学		1	生活不活発者の保健学	2	
(保健医療と社会)			高齢者保健論	1	
公衆衛生学	2		ライフサイクル保健論	2	
環境衛生学		2	保健医療教育論		2
学校保健学		1	地域保健医療支援技術演習		1
生命倫理学	1		(保健医療のための健康運動の理論)		
社会福祉学		1	人体の構造と機能入門		2
生涯発達看護論	1		生涯スポーツ論	2	
<b>【学科専門科目】</b>			運動処方論	2	
(保健医療を支える医学の基礎)			健康運動トレーニング論	2	
生体力学		2	運動生理学	2	
運動器バイオメカニクス		1	健康運動コーチング論	2	
臨床解剖学		1	生体計測論・実技		1
臨床生理学		1	スポーツマネジメント論	2	
障害者生理学		1	健康運動上級コーチング論		2
臨床薬理学		1	(保健医療のための健康運動の実践指導)		
臨床微生物学		1	コンディショニング実技	1	
(保健医療に関わる臨床医学の基本)			トレーニング実技	1	
内科学	2		パフォーマンスの科学		1
外科学	1		健康運動指導実技		1
臨床神経学		2	健康運動指導論		2
精神医学	2		運動処方の理論・実技		1
老年医学		1	レクリエーション支援論		2
整形外科学	2		水中運動実技	1	
小児科学		1	エアロビック指導論		2
産婦人科学		1			

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
エアロビック指導実技		1
障害者健康運動指導論・実技		1
水泳指導論		2
水泳指導実技		1
レクリエーション支援実技		2
(保健医療英語)		
保健医療英語		2
(演習・研究)		
海外スポーツ保健医療セミナー		2
総合スポーツ保健医療学演習	1	
卒業研究	4	



生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目	必修科目 1 単位		21 単位 以上	128 単 位以上	
	キャリア教育科目					
	スキル教育科目	4 単位以上				
	外国語教育科目	[英語 4 単位（必修科目 2 単位を含む）を 含む。]				
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	12 単位以上			
		社会リテラシー				
		科学技術リテラシー				
	特別課題教育科目					
健康とスポーツ	必修科目を含めて 1 単位以上					
スポーツ活動						
学部 教育 科目	学部共通科目	必修科目を含めて	13 単位以上	87 単位 以上		
	生命健康科学基盤科目					
	学科専門科目	必修科目を含めて	47 単位以上			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

現代教育学部 幼児教育学科 教育科目

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>		
<b>(基礎科目)</b>		
教育研究入門 A	2	
教育研究入門 B	2	
多文化共生と教育		2
人権教育論		2
教育統計学基礎		2
教育統計学		2
教育ドラマ論		2
キャリアデザイン論		2
レクリエーション理論		2
生涯学習論		2
<b>(実践科目)</b>		
教育ドラマ演習		2
地域フィールドスタディ		2
教育データ解析		2
レクリエーション演習		2
器楽演奏実技		1
インターンシップ A		1
インターンシップ B		2
インターンシップ C		1
<b>【学科専門科目】</b>		
<b>(基幹科目)</b>		
幼児教育課題研究 A	2	
幼児教育課題研究 B	2	
教職論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
保育原理	2	
保育の心理学		2
子どもの家庭支援の心理学		2
子どもの理解と援助		1
社会福祉		2
子ども家庭福祉		2
社会的養護 A		2
社会的養護 B		1
子ども家庭支援論		2
子どもの保健		2
子どもの健康と安全		1
子どもの食と栄養 A		1
子どもの食と栄養 B		1
乳児保育		2
乳児保育演習		1
特別支援教育 (幼児)		2
障害児保育 A		1
障害児保育 B		1
子育て支援		1

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
<b>(発展科目)</b>		
教育方法学	2	
教育と社会		2
教育課程と保育の計画		2
幼児理解とカウンセリング		2
表現活動 (造形)		1
表現活動 (身体)		1
表現活動 (音楽) A		1
表現活動 (音楽) B		1
言葉と生活		1
幼児造形		1
健康と体育		1
人間関係と生活		1
幼児音楽		1
保育内容指導 (健康)		1
保育内容指導 (人間関係)		1
保育内容指導 (言葉)		1
保育内容指導 (音楽表現)		1
保育内容指導 (造形表現)		1
保育内容指導 (環境)		1
保育総合活動 (音・身・造)		2
保育内容総論		1
環境と生活		1
現代食育論		2
子どもの遊び研究		2
子どもの外国語研究		2
保育・教育インターンシップ		1
保育・教職実践演習 (幼稚園)		2
<b>(実習科目)</b>		
教育実習指導 (幼稚園)		1
教育実習 (幼稚園)		4
保育実習指導 A		1
保育実習指導 B		1
保育実習 I		4
保育実習指導 C		1
保育実習 II		2
保育実習指導 D		1
保育実習 III		2
<卒業研究>	4	

現代教育学部 幼児教育学科 履修方法（卒業の要件）

全学 共通 教育 科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	22 単位 以上	124 単位 以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6 単位以上 下記①～③の全てを含む ①英語必修科目 2 単位		
	外国語教育科目		②英語スキルⅢ・Ⅳ・ポルトガル語入門Ⅰ・Ⅱ から 2 単位 ③日本語スキル・情報スキルから 2 単位		
	教養課題 教育科目	人文リテラシー	14 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部 教育 科目	学部共通科目	基礎科目	必修科目 4 単位を含めて 10 単位以上	86 単位 以上	
		実践科目			
	学科専門科目	基幹科目	必修科目 12 単位を含めて 24 単位以上		
		発展科目	必修科目 2 単位を含めて 26 単位以上		
		実習科目			
	卒業研究	4 単位			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			<b>(小学校教育科目)</b>		
<b>(基礎科目)</b>			国語科研究		1
教育研究入門 A	2		社会科研究		1
教育研究入門 B	2		算数科研究		1
多文化共生と教育		2	理科研究		1
人権教育論		2	生活科研究		1
教育統計学基礎		2	音楽科研究		1
教育統計学		2	体育科研究		1
教育ドラマ論		2	家庭科研究		1
キャリアデザイン論		2	図画工作研究		1
レクリエーション理論		2	外国語研究		1
生涯学習論		2	国語科教育法		2
<b>(実践科目)</b>			社会科教育法		2
教育ドラマ演習		2	算数科教育法		2
地域フィールドスタディ		2	理科教育法		2
教育データ解析		2	生活科教育法		2
レクリエーション演習		2	音楽科教育法		2
器楽演奏実技	1		体育科教育法		2
インターンシップ A	1		家庭科教育法		2
インターンシップ B	2		図画工作教育法		2
インターンシップ C	1		外国語教育法		2
<b>【学科共通科目】</b>			道徳教育の指導法 A		2
発達心理学		2	生徒指導・進路指導 A		2
発達臨床心理学		2	特別活動指導法 A		1
対人関係論		2	総合的な学習の時間の指導法 A		1
国際理解教育論		2	教育相談 A		2
現代社会と教育 A		2	小学校教育実習指導		1
現代社会と教育 B		2	小学校教育実習		4
キャリア開発 A		1	<b>(中学校理科教育科目)</b>		
キャリア開発 B		1	環境生物学入門		2
現代教育課題研究 A	2		地球科学教育論		2
現代教育課題研究 B	2		科学教育演習 A (中学物理)		1
<b>【専攻専門科目】</b>			科学教育演習 B (中学化学)		1
<b>(基幹科目)</b>			科学教育演習 C (中学生物)		1
教職入門	2		科学教育演習 D (中学地学)		1
教育原理 (小・中)	2		理科教育法 I (中学校)		2
教育心理学 (小・中)	2		理科教育法 II (中学校)		2
教育方法学 A		1	理科教育法 III (中学校)		2
教育方法学 B		1	理科教育法 IV (中学校)		2
特別ニーズ教育 A		1	理科概論 A (中学物理)		2
特別ニーズ教育 B		1	理科概論 B (中学化学)		2
教育課程論 A		2	理科概論 C (中学生物)		2
教育課程論 B		2	理科概論 D (中学地学)		2
教育の方法と技術 A		2	理科実験 A (中学物理)		1
教育の方法と技術 B		2	理科実験 B (中学化学)		1
マイクロティーチング演習		2	理科実験 C (中学生物)		1
学校制度と社会		2	理科実験 D (中学地学)		1
絵画表現基礎		1	理科特講 A (中学物理)		2
観察実習指導		1	理科特講 B (中学化学)		2
観察実習		1	理科特講 C (中学生物)		2
教職実践演習 (小・中)		2			

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
理科特講 D (中学地学)		2
道徳教育の指導法 B		2
生徒指導・進路指導 B		2
特別活動指導法 B		1
総合的な学習の時間の指導法 B		1
教育相談 B		2
中学校教育実習指導		1
中学校教育実習		4
(特別支援教育科目)		
特別支援教育総論		2
知的障害児の心理		2
知的障害児の生理・病理		2
知的障害児の教育 A		2
知的障害児の教育 B		2
肢体不自由児の生理と病理		1
病弱児の生理と病理		1
肢体不自由児の心理		1
病弱児の心理		1
肢体不自由児の教育		2
病弱児の教育		2
教育アセスメント		2
重複障害児の心理と教育		1
LD 児の心理と教育		1
視覚障害児の心理と教育		1
聴覚障害児の心理と教育		1
特別支援学校教育実習指導		1
特別支援学校教育実習		2
<卒業研究>	4	

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	16 単位以上	124 単位以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6 単位以上 下記①～③の全てを含む ①英語必修科目 2 単位		
	外国語教育科目		②英語スキルⅢ・Ⅳ・ポルトガル語入門 I・II から 2 単位 ③日本語スキル・情報スキルから 2 単位		
	教養課題教育科目	人文リテラシー	8 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目	基礎科目	必修科目 4 単位を含めて 10 単位以上	84 単位以上	
		実践科目			
	学科共通科目		必修科目 4 単位を含めて 6 単位以上		
	専攻専門科目	基幹科目	必修科目 6 単位を含めて 10 単位以上		
		小学校教育科目			
		中学校理科教育科目			
		特別支援教育科目			
卒業研究		4 単位			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
<b>【学部共通科目】</b>			<b>(中学校国語教育科目)</b>		
<b>(基礎科目)</b>			国語科教育法Ⅰ (中学校)		2
教育研究入門 A	2		国語科教育法Ⅱ (中学校)		2
教育研究入門 B	2		国語科教育法Ⅲ (中学校)		2
多文化共生と教育		2	国語科教育法Ⅳ (中学校)		2
人権教育論		2	日本語学概論		2
教育統計学基礎		2	日本語音声学		2
教育統計学		2	日本語文法論		2
教育ドラマ論		2	日本語教育学		2
キャリアデザイン論		2	言語表現法演習 A		1
レクリエーション理論		2	言語表現法演習 B		1
生涯学習論		2	日本語学研究法		2
<b>(実践科目)</b>			日本近現代文学概論		2
教育ドラマ演習		2	日本古典文学概論		2
地域フィールドスタディ		2	日本近現代文学演習		1
教育データ解析		2	日本古典文学演習		1
レクリエーション演習		2	日本近現代文学研究法		2
器楽演奏実技		1	日本古典文学研究法		2
インターンシップ A		1	漢文学概論		2
インターンシップ B		2	漢文学演習		1
インターンシップ C		1	書写・書道 A		2
<b>【学科共通科目】</b>			書写・書道 B		2
発達心理学		2	日本語学講読		2
発達臨床心理学		2	日本語教授法		2
対人関係論		2	近代文学講読 A		2
国際理解教育論		2	近代文学講読 B		2
現代社会と教育 A		2	古典講読 A		2
現代社会と教育 B		2	古典講読 B		2
キャリア開発 A		1	現代文学講読		2
キャリア開発 B		1	日本文化論 A		2
現代教育課題研究 A	2		日本文化論 B		2
現代教育課題研究 B	2		国語教育課題研究		2
<b>【専攻専門科目】</b>			<b>(中学校数学教育科目)</b>		
<b>(基幹科目)</b>			数学科教育法Ⅰ (中学校)		2
教職入門 (中学校)	2		数学科教育法Ⅱ (中学校)		2
教育基礎論	2		数学科教育法Ⅲ (中学校)		2
学校教育心理学	2		数学科教育法Ⅳ (中学校)		2
教育方法学 (中学校)		1	数学基礎演習		1
特別ニーズ教育 (中学校)		1	代数学概論		2
教育課程論 (中学校)		2	代数学演習		1
教育の方法と技術 (中学校)		2	代数学		2
教育制度論		2	代数学研究法		2
道德教育の指導法 (中学校)		2	幾何学概論		2
生徒指導・進路指導 (中学校)		2	幾何学		2
特別活動指導法 (中学校)		1	幾何学演習		1
総合的な学習の時間の指導法 (中学校)		1	幾何学研究法		2
教育相談 (中学校)		2	解析学概論		2
中学校教育実習指導		1	解析学演習		1
中学校教育実習		4	解析学		2
教職実践演習 (中学校)		2	解析学研究法		2
			確率統計概論		2

授 業 科 目	単位数	
	必修	選択
確率統計演習		1
確率統計研究法		2
計算機実習 A		1
計算機実習 B		1
代数学統論		2
幾何学統論		2
計算機概論		2
代数学応用		2
数理解析入門		2
英語で数学		2
数学教育課題研究		2
離散数学		2
情報数理解析		2
物理数学		2
<卒業研究>	4	



現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻 履修方法（卒業の要件）

全学共通教育科目	初年次教育科目		必修科目 1 単位	16 単位以上	124 単位以上
	キャリア教育科目				
	スキル教育科目		6 単位以上 下記①～③の全てを含む ①英語必修科目 2 単位		
	外国語教育科目		②英語スキルⅢ・Ⅳ・ポルトガル語入門 I・II から 2 単位 ③日本語スキル・情報スキルから 2 単位		
	教養課題教育科目	人文リテラシー	8 単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて 1 単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学部共通科目	基礎科目	必修科目 4 単位を含めて 10 単位以上	84 単位以上	
		実践科目			
	学科共通科目		必修科目 4 単位を含めて 6 単位以上		
	専攻専門科目	基幹科目	必修科目 6 単位を含めて 10 単位以上		
		中学校国語教育科目			
		中学校数学教育科目			
卒業研究		4 単位			

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。

教職に関する専門科目

授 業 科 目	単位数		授 業 科 目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
(教育の基礎的理解に関する科目)			(教科及び教科の指導法に関する科目)		
教職概論		2	職業指導 (工業)		2
教育原論		2	職業指導 (商業)		2
学習・発達論		1	職業指導 (農業)		2
特別支援教育論		1	情報と職業		2
教育行政学		2	工業科教育法 I		2
学校教育社会論		2	工業科教育法 II		2
教育課程総論		2	理科教育法 I		2
(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)			理科教育法 II		2
道徳教育の方法		2	社会科・公民科教育法 I		2
総合的な学習の時間の指導法		1	社会科・公民科教育法 II		2
特別活動論		1	社会科・地理歴史科教育法 I		2
教育方法論		2	社会科・地理歴史科教育法 II		2
生徒指導・進路指導		2	国語科教育法 A I		2
生徒指導論 (養護・栄養)		1	国語科教育法 A II		2
学校教育相談		2	国語科教育法 B I		2
(教育実践に関する科目)			国語科教育法 B II		2
教育実習 A		3	英語科教育法 A I		2
教育実習 B		5	英語科教育法 A II		2
教育実習 (養護教諭)		5	英語科教育法 B I		2
教育実習 (栄養教諭)		2	英語科教育法 B II		2
教職実践演習 (中・高)		2	農業科教育法 I		2
教職実践演習 (養護教諭)		2	農業科教育法 II		2
教職実践演習 (栄養教諭)		2	情報科教育法 I		2
			情報科教育法 II		2
			商業科教育法 I		2
			商業科教育法 II		2

※ 授業科目の履修に関しては別に定める。